

第13回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 議事次第

日時：令和2年11月5日（木） 13:00-16:00

於：オンライン形式

主催：国立がん研究センター

＜開会挨拶＞

国立がん研究センター理事長 中釜 斉

＜来賓挨拶＞

厚生労働省 健康局がん・疾病対策課 がん対策推進官 岩佐景一郎

＜議事＞

1. 厚生労働省からの連絡・伝達事項

(1) 厚生労働省 健康局がん・疾病対策課

(2) 労働基準局安全衛生部労働衛生課

2. がん登録部会からの報告、患者体験調査についての報告

がん対策情報センターがん登録センター長 東 尚弘

3. 情報提供・相談支援部会からの報告

がん対策情報センターがん情報提供部長 高山 智子

4. 緩和ケア部会からの報告、遺族調査についての報告

がん対策情報センターがん医療支援部長 加藤 雅志

5. がん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しに関する意見交換

6. 新型コロナウイルス感染症流行下での都道府県における活動

(1) 鳥取県からの報告

「新型コロナウイルス感染対策下におけるがん相談」

鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 吉岡 奏

(2) 京都府からの報告

「京大病院における新型コロナウイルス感染症拡大下でのがん診療連携の取り組み」

京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座 武藤 学

(3) 新型コロナウイルス感染症流行下での都道府県における活動に関する意見交換

7. 事前アンケートの結果について

＜閉会＞

【参考資料】

第13回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会事前アンケート結果

第13回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会追加アンケート結果

がん患者・経験者の治療と仕事の 両立支援施策の現状について



厚生労働省
健康局がん・疾病対策課
労働基準局安全衛生部労働衛生課

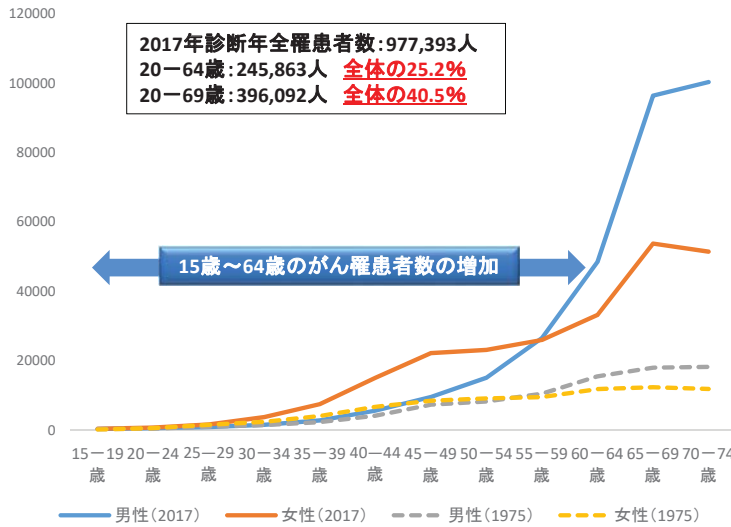
がん患者・経験者の就労・両立支援に関する対策の経緯

平成24年6月	第2期がん対策推進基本計画閣議決定 ・重点的に取り組むべき課題に「働く世代や小児へのがん対策の充実」 ・分野別施策に「がん患者の就労を含めた社会的な問題」を追加
平成25年4月	「がん患者の就労に関する総合支援事業」健康局(平成25年度～) 「治療と職業生活の両立等の支援対策事業」基準局(平成25年度～) 「がん患者等に対する就職支援モデル事業」安定局(平成25～27年度)⇒28年度～全国展開
平成26年2月	「がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会」(計5回)開催
平成26年8月	「がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会」報告書とりまとめ
平成27年12月	がん対策加速化プラン策定
平成28年2月	「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」公表
平成30年3月	第3期がん対策推進基本計画閣議決定
平成30年4月	「がん患者の仕事と治療の両立支援モデル事業」健康局(平成30～令和元年度)
令和2年4月	「がん患者の就労に関する総合支援事業」拡充(令和2年度～)

がん罹患患者数と仕事を持ちながら通院している者の推移

- がん患者の約3人に1人は20代～60代で罹患している。
- 悪性新生物の治療のため、仕事を持ちながら通院している者は**44.8万人**で、2016年同調査と比較して、約8万人増加した。特に、70歳以上の方の増加率が高く、男性は1.5倍、女性は1.9倍であった。

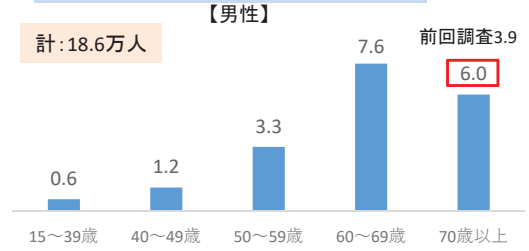
性別・年齢別がん罹患患者数



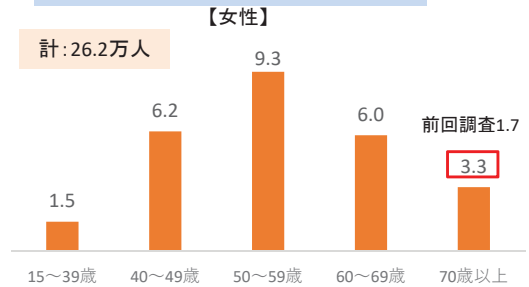
注: 1) 2017年は「全国がん登録」に基づくデータ。
 2) *性別不詳があるため男女の合計が総数と一致しない。

出典: 「平成29年 全国がん登録罹患患者数・率報告」(令和2年4月24日発行)
 編集・国立がん研究センターがん対策情報センター/発行・厚生労働省健康局がん・疾病対策課

仕事を持ちながら悪性新生物で通院している者(万人)



仕事を持ちながら悪性新生物で通院している者(万人)



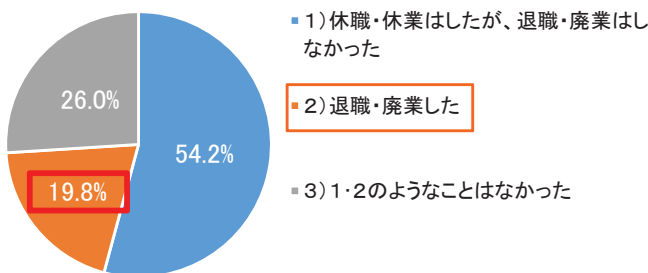
注: 1) 入院者は含まない。2) 「仕事あり」とは、調査の前月に収入を伴う仕事を少しでもしたことを行い、被雇用者のほか、自営業主、家族従事者等を含む。なお、無給で自家営業の手伝いをした場合や、育児休業や介護休業のため、一時的に仕事を休んでいる場合も「仕事あり」とする。

資料: 厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」を基に同省健康局にて特別集計したもの

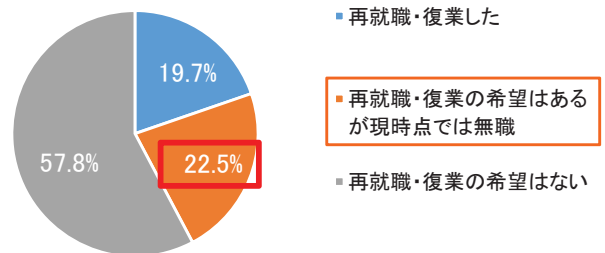
がん患者・経験者の就労の状況

- 診断時に収入のある仕事をしてきた人(就労者)の割合は44.2%で、平成26年度の調査の時点と大きな変化はなかった。
- がんを診断を受けて**退職・廃業した人は就労者の19.8%**を占めており、そのうち、**初回治療までに退職・廃業した人は56.8%**、**再就職・復職の希望はあるが無職の人は22.5%**であった。

がん診断後の就労への影響

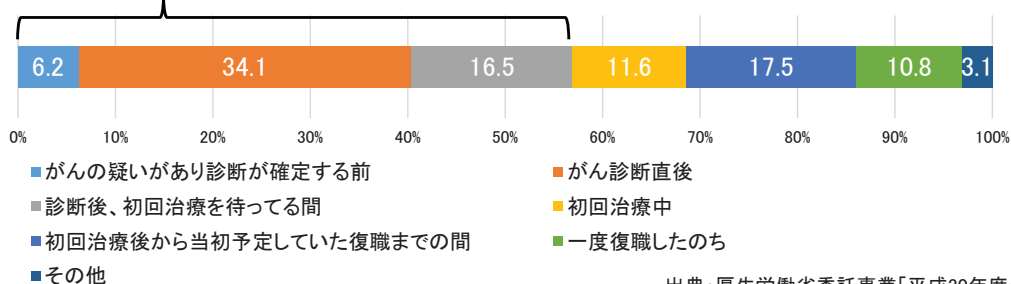


退職後について



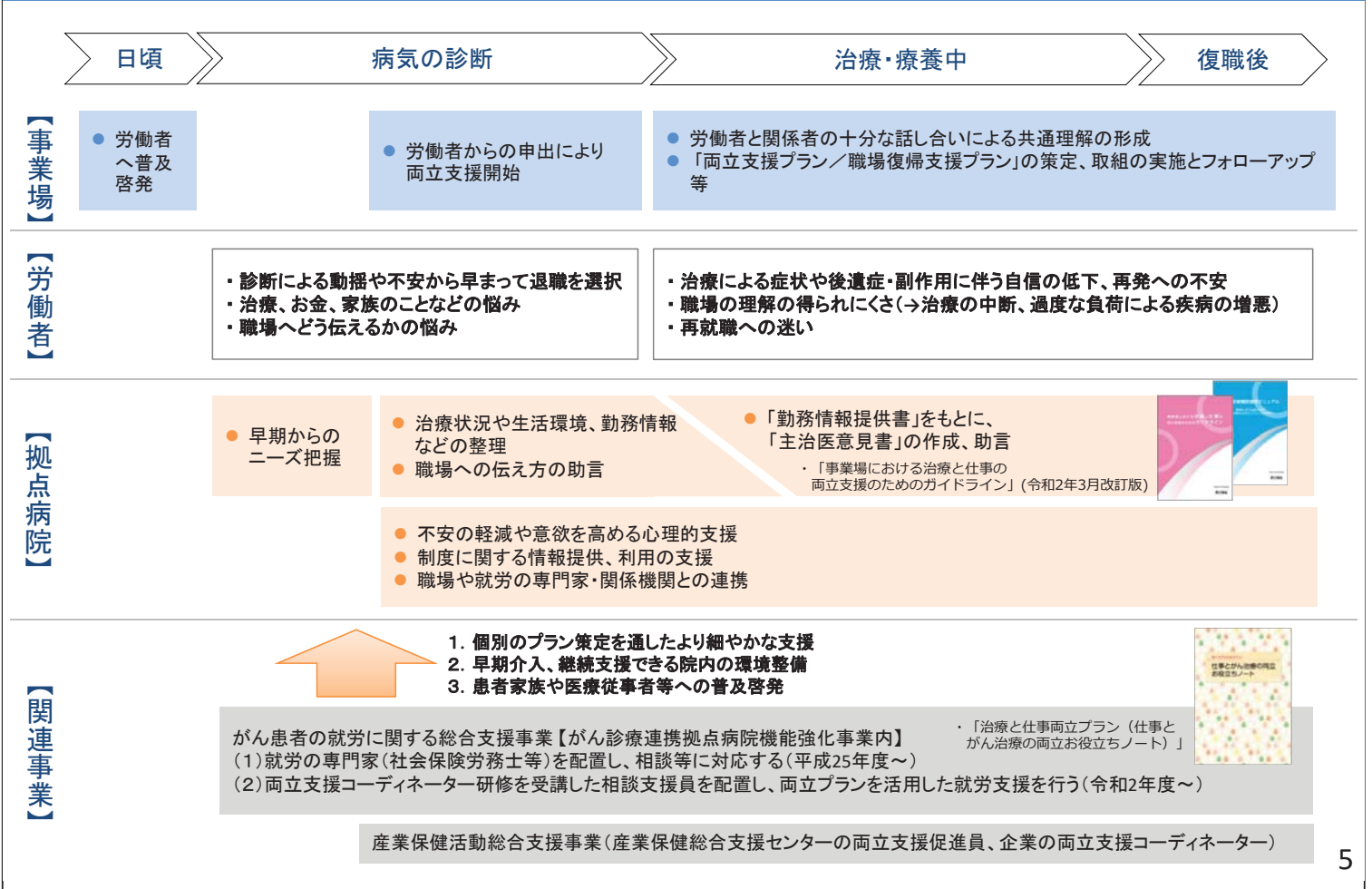
治療開始前に離職 56.8%

退職のタイミング



出典: 厚生労働省委託事業「平成30年度患者体験調査報告書」(国立がん研究センターがん対策情報センター)

拠点病院等におけるがん患者の仕事と治療の両立支援



がん患者等の仕事と治療の両立支援モデル事業における取組 (平成30～令和元年度)

事業概要

【目的】

がん患者等や就労支援に携わる者が、がん患者等のおかれた事情を総合的に把握するための「治療と仕事両立プラン」を策定し、当該プランを活用することにより、がん診療連携拠点病院等において治療と仕事の両立支援の推進を図る。

【内容】

がん相談支援センター等に「**両立支援コーディネーター**」の研修を受講した相談支援員を専任で配置し、個人ごとの状況に応じて「**治療と仕事両立プラン**」を策定し、プランを活用した支援を行う。

取組内容(例)

- 院内における広報
ポスター掲示、ちらし・カードの配布、書棚に専用コーナーの設置
- 院内体制の整備
支援チームの発足、運用フロー、スクリーニングの改善・開発
- 患者支援
初診時からの就労に関する声かけ・相談支援センターの紹介、定例セミナー、関係団体との相談会の開催、就労支援外来
- 関係者に対する教育、啓発
医療従事者向け研修会(既存システムの活用)、企業向け研修会、事例検討の実施

令和元年度実施機関(17か所)

(※)前年度の実施機関

国立がん研究センター東病院(※)	千葉県
国立がん研究センター中央病院(※)	東京都
武蔵野赤十字病院	東京都
東京慈恵会医科大学附属病院	東京都
日本大学医学部附属板橋病院	東京都
北里大学病院(※)	神奈川県
横浜市立大学附属病院	神奈川県
福井県済生会病院(※)	福井県
長野市民病院(※)	長野県
岐阜大学医学部附属病院	岐阜県
名古屋第二赤十字病院	愛知県
大阪医科大学附属病院	大阪府
兵庫医科大学病院(※)	兵庫県
九州がんセンター	福岡県
戸畑共立病院	福岡県
産業医科大学病院【脳卒中患者対象】	福岡県
佐賀県医療センター好生館	佐賀県

がん患者の就労に関する総合支援事業

(がん診療連携拠点病院機能強化事業内)

趣旨

- 平成27年度の厚生労働省研究班による調査では、がんと診断され、退職した患者のうち、診断がなされてから最初の治療が開始されるまでに退職した者が4割を超えている。また、その退職理由としては、「職場に迷惑をかけたと思った」「がんになったら気力・体力的に働けないだろうと予測したから」等といった、がん治療への漠然とした不安が上位に挙がっているため、がん患者が診断時から正しい情報提供や相談支援を受けることが重要となっている。
- 平成25年度より、拠点病院等のがん相談支援センターに、就労に関する専門家（社労士等）を週1日で配置した。また、がん患者が安心して仕事の継続や復職に臨めるように、平成30年度～令和元年度に「がん患者等の仕事と治療の両立支援モデル事業」を実施し、一定の効果がみられた。
- このような状況を踏まえ、令和2年度より、就労に関する専門家の配置に追加して、**主治医と会社の連携の橋渡し役となり、患者に寄り添って積極的な介入を行う両立支援コーディネーターを配置することにより、がん患者に対する切れ目のないフォローを実現するとともに、個々のがん患者ごとの治療、生活、勤務状況等を総合的にまとめた「治療と仕事両立プラン」の作成等の両立支援を実施する。**

多様な相談ニーズ

就労（就業継続、復職等）

- 早期のニーズ把握と介入による望まない離職の予防
- 勤務時間の短縮等、治療や生活に応じた勤務形態の調整
- 治療、仕事、生活への漠然とした不安の軽減
→患者の相談支援及び主治医や企業・産業医との調整の支援が必要
- 事業者による不当解雇等の不利益に対する支援
- 休職や社会保障に関する支援 等

※「がん患者等の仕事と治療の両立支援モデル事業」の効果の例
(平成30年度～令和元年度の2ヶ年で実施)

- ・医療従事者への啓発：コンサルテーションや介入依頼の増加
- ・お役立ちノート（両立プラン）の活用：職場との対話に「役立った」
- ・患者向けツール作成、セミナーの開催：就労への準備性の向上



がん診療連携拠点病院における支援体制

がん患者の就労に関する総合支援事業（平成25年度～）

(1) 拠点病院等に就労の専門家（社労士等）を配置し、相談等に対応する。【平成25年度～】

新 (2) 拠点病院等に両立支援コーディネーターの研修を受講した相談支援員を配置し、がん患者の診断時からニーズの把握と、継続的に適切な両立支援を行う。【令和2年度～】

※ (1) もしくは (2) のいずれかの事業を実施する。



医療機関における両立支援の現状と課題

平成30年度労災疾病臨床研究事業費補助金

「医療機関における両立支援の取組に関する研究」

【調査概要】

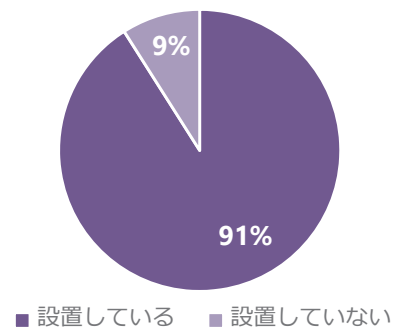
対象施設：全国のがん診療連携拠点病院及び労災病院

調査期間：平成30年12月～平成31年1月

有効回答数（率）：268ヶ所 / 438ヶ所（61.2%）

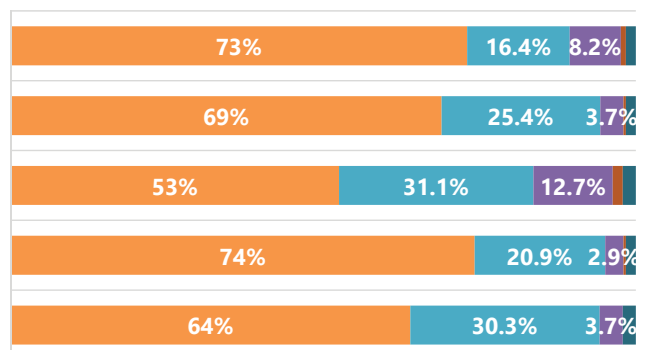
現状 | 相談窓口の設置状況

治療と仕事の両立に関する相談窓口



課題 | 現場担当者が感じている課題（抜粋）

- ▶ 院外との連携 事業場との連携
- ▶ 支援の実践 院内スタッフにおける両立支援への意識の向上
- ▶ 情報収集と共有 多職種における両立支援に必要な情報の共有
- ▶ 支援へのアクセス 対象患者における両立支援相談窓口の認知
- ▶ 支援体制の整備 両立支援窓口の担当者の育成・スキルの向上



■ 課題である ■ やや課題である ■ さほど課題でない ■ 課題ではない ■ 回答なし

医療機関における両立支援の推進

院外との連携

▶「企業・医療機関連携マニュアル」

- 企業と医療機関が情報のやりとりを行う際の参考のため、勤務情報提供書、主治医意見書、両立支援プランの作成のポイントを示すもの。
- 具体的な事例を通じた各様式の記載例を疾患別に各3~4例作成。
(作成済：がん、脳卒中、肝疾患、難病 | 作成中：心疾患、糖尿病)



支援の実践、情報収集と共有、支援へのアクセス、支援体制の整備

▶「医療機関における治療と仕事の両立支援導入ガイド」

- 治療と仕事の両立支援の流れをもとに、医療機関への導入方法や取り組み方、医療従事者がそれぞれの立場で担う役割を示すもの。
- 医療機関での実践に向けた資料、職種別の行動ガイド、FAQ等を作成。
平成29~31年労災疾病臨床研究「医療機関における両立支援の取組に関する研究」



相談窓口担当者の育成・スキルの向上

▶「両立支援コーディネーター」の育成・配置

- 労働者の同意のもと、業務や治療に関する情報を得て、労働者の治療や業務の状況に応じた必要な配慮等の情報を整理して本人に提供する。(後述)

9

両立支援コーディネーターの養成

担い手： 企業の人事労務担当者や産業保健スタッフ・医療機関の医療従事者・支援機関等

機能： 支援対象者に寄り添いながら継続的な相談支援等を行うこと

役割： それぞれの立場における支援の実施 及び 関係者との連携・調整

支援対象者の同意を前提として、治療に関する情報や業務に関する情報等を得て、支援対象者の治療や業務の状況に応じた必要な配慮等の情報を整理して本人に提供する 等

養成： 独立行政法人労働者健康安全機構が両立支援コーディネーター基礎研修を実施
令和2年3月末時点で4,129人が修了



※関係者との調整を行うに当たっては、両立支援コーディネーターは、事業場に対して支援対象者の代理で交渉行為を行うものではない

治療と仕事の両立支援の流れ

① 勤務情報提供書の作成
(事業者、産業医等と作成)

仕事との両立には通院の継続が必要です。
また、●●という症状があるため、○○について配慮をお願いしてください。

③ 主治医に提供された情報を事業者へ提出
④ 産業医意見を勘案して両立支援プランの作成



② 勤務情報提供書を踏まえ療養上の指導、両立に必要な情報を提供

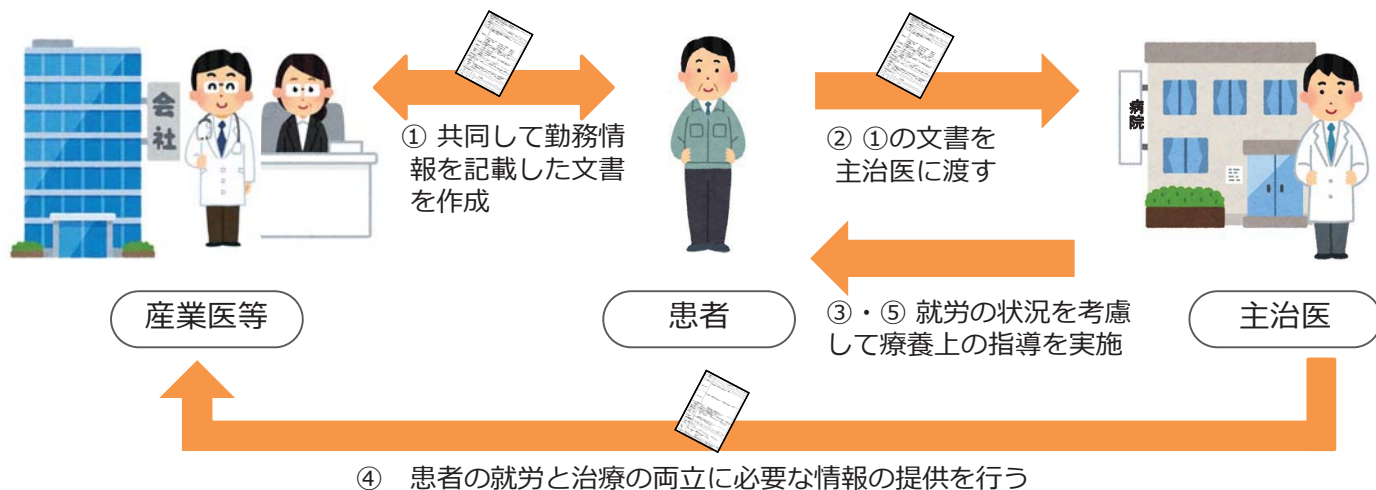
(新)療養・就労両立支援指導料R2～

- 企業から提供された勤務情報に基づき、患者に療養上必要な指導を実施するとともに、企業に対して診療情報を提供した場合について評価するもの
- また、診療情報を提供した後の勤務環境の変化を踏まえ、療養上必要な指導を行った場合についても評価される

対象疾患

がん (2018年～)

脳卒中、肝疾患、指定難病 (2020年～新規追加)



R2診療報酬改定

対象となる疾患：**脳血管疾患、肝疾患、指定難病**を追加（※H30は悪性腫瘍のみ）

初回：800点

- 患者と事業者が共同で勤務情報提供書を作成する
- 勤務情報提供書を主治医に提出する
- 患者に療養上必要な指導を実施する

対象疾患の拡大

主治医の連携先の拡大

- 主治医が企業に対して診療情報を提供する（AもしくはBによる）

A) 患者の勤務する事業場の産業医等に対して、就労と治療の両立に必要な情報を記載した文書の提供を行う。

B) 当該患者の診察に同席した産業医等に対して、就労と治療の両立に必要なことを説明する。

※産業医等：産業医、保健師、総括安全衛生管理者、衛生管理者、安全衛生推進者



2回目以降：400点

- 診療情報を提供した後の勤務環境の変化を踏まえ療養上必要な指導を実施する
- ※初回を算定した月から起算して3月を限度として、月1回に限り算定する

相談支援加算の創設

相談支援加算：50点

- 患者に対して、看護師または社会福祉士が相談支援を行った場合について評価
- **両立支援コーディネーター研修**を修了した看護師または社会福祉士を配置する

13

それぞれの立場からの両立支援の意義

◆ 労働者にとっての意義

疾病にかかったとしても、本人が希望する場合は、疾病を増悪させることがないよう、適切な治療を受けながら、仕事を続けられる可能性が高まる。

◆ 事業者にとっての意義

疾病による従業員の離職を防ぐことで、貴重な人材資源の喪失を防ぐことが可能となると共に、従業員のモチベーション向上から、労働生産性の維持・向上にもつながる。

◆ 医療関係者にとっての意義

仕事を理由とする治療の中断や、仕事の過度な負荷による疾病の増悪を防ぐことで、疾病の治療を効果的に進めることが可能となる。

◆ 社会にとっての意義

疾病を抱える労働者の方々も、それぞれの状況に応じた就業の機会を得ることが可能となり、全ての人が生きがい、働きがいを持って各々活躍できる社会の実現に寄与することが期待される。

ご清聴ありがとうございました。



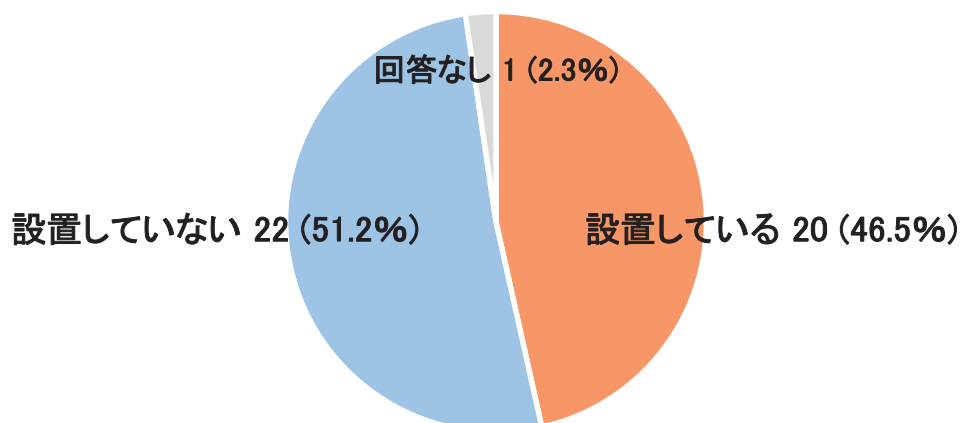
ひと、くらし、みらいのために

第13回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 事前アンケート調査 結果

都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指した
PDCAサイクル確保の取り組みについて

Ⅲ-1. 都道府県レベルのがん診療の質向上のための PDCAサイクル確保の取り組み

PDCAサイクルの確保に関する会議体の設置 N=43



会議体の構成員数 N=20	N	%
～10名	1	5.0
11～20名	8	40.0
21名～	11	55.0

Ⅲ-1. 都道府県レベルのがん診療の質向上のための PDCAサイクル確保の取り組み

開催した会議の回数 N=20	2019年度 (2019.4～2020.3)		2020年度 (2020.4～2020.9)	
	N	%	N	%
0回	0	0.0	8	40.0
1回	9	45.0	7	35.0
2～5回	8	40.0	3	15.0
6回～	3	15.0	0	0.0
回答なし	0	0.0	2	10.0

開催方法 N=20				
	N	%	N	%
集合	17	85.0	2	10.0
集合、書面	2	10.0	0	0.0
オンライン、オンラインで計画中	0	0.0	6	30.0
書面、メール審議	0	0.0	3	15.0
回答なし	1	5.0	9	45.0

Ⅲ-1 都道府県レベルのがん診療の質向上のための PDCAサイクル確保の取り組み

会議体を設置していない都道府県 N=22

●会議体がない都道府県の検討の場	N	%
検討していない	0	0.0
都道府県がん診療連携拠点病院の担当者間	2	9.1
都道府県のがん診療連携協議会	10	45.5
都道府県内のがん診療連携協議会の各領域の専門部会	18	81.8

Ⅲ-2. 都道府県レベルのがん診療の質向上のための PDCAサイクル確保の取り組み

	N	N=43 %
●PDCAサイクルの確保に関する取り組み状況		
• 都道府県内のPDCAサイクルの確保に関する責任者を決めている	28	65.1
• 都道府県内のPDCAサイクルの確保に関する実務担当者を決めている	32	74.4
• 都道府県レベルでPDCA確保の取り組みを開始している	35	81.4
• 都道府県内のPDCAサイクル部会・委員会等で、問題や課題を整理している	24	55.8
• 都道府県内で達成すべき共通の目標を設定している	25	58.1
• 都道府県内の共通目標は「都道府県がん対策推進基本計画」に基づいている	22	51.2
• 共通の目標達成のために、各がん診療連携拠点病院が行動計画を立案している	24	55.8
• 各がん診療連携拠点病院が立案した行動計画の進捗状況について、都道府県内のPDCAサイクル部会・委員会等で確認している	20	46.5
• 都道府県内で設定した目標達成状況について、PDCAサイクル部会・委員会等で評価している	17	39.5
●PDCAサイクルの確保で活用している方法		
• 現況報告書を用いて拠点病院間の情報を共有	25	58.1
• 院内がん登録データを用いて情報共有	20	46.5
• がん診療評価指標(Quality Indicator)の研究に参加	22	51.2
• がん診療連携病院における診療体制に関する調査に参加	11	25.6
• 都道府県内共通のフォーマットを用いてPDCA活動について情報共有	23	53.5
• 特定のメンバーが訪問する実地調査	3	7.0
• 病院間の相互訪問による実地調査	21	48.8
• その他	3	7.0

Ⅲ-3. 都道府県レベルのがん診療の質向上のための PDCAサイクル確保の取り組み

工夫していること

■ 都道府県内、部会でのPDCAサイクルの確保

岩手、群馬、茨城、東京、
神奈川、愛知、大阪、奈良、
和歌山、広島、徳島、高知、
福岡、長崎、鹿児島、長崎

- 毎年、特定の項目(テーマ)を決め、アンケート調査や拠点病院間の相互訪問等を通じて、各施設で取り組むべき課題を明らかにし、立案した改善計画に基づいて各施設でPDCAサイクルを回す。(広島)
- 県のがん診療連携拠点病院の数が少なく、地域も近いことから各部会の実務者が実務者会を行い、その実務者会では様々な計画を立てており、その中にPDCAサイクルチームを設置してPDCAサイクルの確保に努めている。(徳島)
- テーマは、部会にて決定された東京都共通テーマを設定している。(東京)
- 県内のがん診療連携拠点病院全体で取り組む共通の取組を決め、県全体の均てん化を進めている。(愛知)
- 緩和ケア部会では30項目に及ぶ「個別課題」に関して各拠点病院のPDCAサイクル評価を行い公表している。(大阪)
- がん医療に関しては、それ以外の緩和ケア、がん相談、化学療法やゲノム医療、がん登録等のそれぞれの部門での共通目標やPDCAによる評価(相互訪問も含む)と改善を図っている。(鹿児島)

■ PDCAサイクルの標準化(ひな型)の構築

愛知

■ PDCA評価結果の共有や周知の工夫

東京、大分

■ PDCAサイクル責任者の選出

栃木、群馬

Ⅲ-3. 都道府県レベルのがん診療の質向上のための PDCAサイクル確保の取り組み

工夫していること

■ 相互訪問、ピアレビューの実施

秋田、東京、神奈川、大阪、
奈良、徳島、広島、鹿児島

- 相互訪問チェックを年2回開催し、その結果を受け入れ施設、訪問施設、ならびに県がん対策推進協議会でそれぞれフィードバックしている。(秋田)
- 拠点病院間の実地調査(相互訪問)では、施設全体で医療圏ごとのブロックに分かれて活動を行っている。各ブロックは、ブロック長を決め、施設間で相互訪問の組み合わせ及び日程調整を行い相互訪問を実施する。(東京)
- 「県がん診療連携拠点病院PDCAサイクル評価委員会」として各拠点病院、地域がん診療病院および支援病院から担当の医師を選出し、訪問調査を行っている。この訪問調査には、看護師やMSWも参加しており、情報共有の場としても有効に活用している。(奈良)

■ アンケート調査の実施

秋田、広島、大分

- 県第3期がん対策推進計画の中間評価として、それぞれ2000人規模の患者・医療者アンケート調査を行った。このアンケート調査は計画策定時にも行っており、この3年間の改善が見て取れるようにしてある。(秋田)

■ 県内のがん拠点病院PDCAサイクルフォーラムの開催

大阪

■ 職種別分科会の設置

愛知

■ 行政(県庁)との協力体制

奈良

Ⅲ-3. 都道府県レベルのがん診療の質向上のための PDCAサイクル確保の取り組み

問題点

■ 各施設や県内共通の目標策定や具体的な改善行動に繋がっていない

- 当県の緩和ケア部会では①部会での各拠点病院の実績報告及び評価②県内でのPDCAサイクルフォーラムの開催③拠点病院相互のピアレビューを3本柱としてPDCAサイクル確保を目指しているが、県内共通の目標の策定や具体的な改善行動に繋がっていないのが現状である
- 今年度より、新しい内容のチェックシートを各施設にて活用している。チェックシートの見直しを行うことができたが、県内ではPDCAのチェック項目を埋めることまででとどまっており、各施設や県内の課題の抽出や考察を行い、課題改善に向けての取組を行うまでに至っていないのが現状で課題と感じている

■ 人員不足により十分な活動ができていない

- 地方県であり専門職が増えないのが課題。そのため業務負担が年々重くなっており、相互訪問などが困難となっている

■ 既存の専門部会の構成員と重複するため、人的負担面等からPDCAサイクル部会を設置することが難しい

- PDCAサイクル部会を独立した部会として設置する場合、その構成員は既存の専門部会における各施設の構成員と重複することとなるため、負担軽減のためにPDCAサイクル部会は特に設置していない

■ 総合病院においては、がん診療領域だけで共通の目標を立案することが難しい

■ 実臨床の改善に関して、病院独自あるいは大学医局に依るところが大きい

■ 病院執行部の理解がなく体制整備に繋がらない

■ 相互訪問、ピアレビューの今後の在り方について

Ⅲ-4. 特に、新型コロナウイルス感染症の流行に関連して、都道府県レベルでのPDCAサイクルの確保に関して

工夫していること

<ul style="list-style-type: none"> ■ オンライン形式や書面形式の会議開催・開催予定 	<p>栃木、埼玉、東京、神奈川、愛知、和歌山、鳥取、長崎、福岡</p> <ul style="list-style-type: none"> • ピアレビューの実施について、相互訪問を取りやめ、オンライン形式で施設の紹介を行っている。(神奈川) • 研修や会議をなるべく開催できるよう、Web会議システムの活用や会場を複数用意して参加者を分散させる等、運営について工夫している。(和歌山) • 集合会議を当面中止し、オンライン、書面開催等による情報共有。(東京)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 院内での対面相談件数減少に対して、県内図書館でのがん相談会の開催 	<p>高知</p> <ul style="list-style-type: none"> • 院内での対面相談件数の減少を受けアウトリーチの強化として、県立図書館内で1ヶ月限定ではあるが、毎週土曜日の半日、がん相談会を開催した。(高知)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 感染予防対策をとりながら可能な範囲での活動展開 	<p>大分、長崎</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現在は、各がん相談支援センターにおいて、感染予防対策を行いながら可能な範囲での活動を展開している。(大分)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 感染症対策物品の調達、県の感染対策の検証・推進、施設内・県内にウイルス抗原検査機器の導入と体制整備 	<p>静岡</p>

Ⅲ-4. 特に、新型コロナウイルス感染症の流行に関連して、都道府県レベルでのPDCAサイクルの確保に関して

問題点

<ul style="list-style-type: none"> ■ 集合形式の会議や研修会が行えなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> • 問題点としていくつかの研修会やフォーラムが開催中止となった • 1つの会場に集まりPDCAサイクル部会を行うのが困難となっている • 県内のがん相談支援センター実務者が集合してイベント開催をすることが困難となった
<ul style="list-style-type: none"> ■ 各施設間の相互訪問の人数制限が生じたり、実施が困難となった 	<ul style="list-style-type: none"> • 相互訪問チェック参加者人数を絞らざるを得なかった • 一部の部会で病院間相互チェックを始めたが、Covid-19の影響で延期となっている • PDCA体制確保の一環として、第三者による評価、拠点病院間の実地調査(相互訪問)を実施しているが、今般の状況から実地調査の実施が困難な状況となっている • 相互チェックを行う体制を模索中である
<ul style="list-style-type: none"> ■ オンライン形式の会議だと参加者からの発言がしづらく一方的な報告となりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> • 委員の方を集ってもらう形式の委員会の開催が難しいため、Web会議で行なっているが、なかなか意見が出ず、代表者、事務局からの一方的な報告になりやすい
<ul style="list-style-type: none"> ■ 各施設のWEB環境の整備状況に差がある 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 都道府県拠点病院協議会の延期にともなう、県協議会の延期による各事業への影響 	

第13回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 事前アンケート調査 結果

都道府県内のがん医療に携わる医療者の 研修・人材育成について

IV-1. 都道府県内の施設に向けた、都道府県内の がん薬物療法に関する研修

がん薬物療法に関する研修等の実施について (N, %) ※重複回答あり N=43

	2019年度		2020年度	
	N	%	N	%
実施した	35	81.4	6	14.0
予定していたがコロナのため未実施	2	4.7	17	39.5
実施の予定はなく未実施	6	14.0	8	18.6
今後実施する予定	-	-	17	39.5
上記のいずれも回答なし	3	7.0	3	7.0

2019年度、2020年度に研修を実施しなかった理由(複数回答)	N
都道府県内で研修実施について話し合う機会がないから	3
担当がいなかったから	1
時間的に余裕が無かったから	3
必要性を感じていないから	0
どのように研修実施を実現すればよいかわからないから	2
他の機関が主催で実施していたため	2
予算が確保できなかったから	1
都道府県内の関係者の協力が得られないから	0
研修生が集まらないから	0
新型コロナウイルス感染症のため、研修開催ができなくなったから	15
その他	0

IV-1. 都道府県内の施設に向けたがん薬物療法の研修・人材育成に関する困りごとなど

- 集合形式での研修会や会議開催が困難
- オンライン形式での研修会の企画について
- 今後の研修会の内容について
- 研修会の講師の確保
- がん薬物療法専門医の育成と、新専門医制度や研修プログラムとの問題
 - 新専門医制度の中で「内科専攻医育成」の流れと2階建ての「がん薬物療法専門医」まで行くに時間を要する
 - 若い医師(人材)の数はある程度確保できても地域での病院内の研修で精一杯の感があって、研修の場を設定しても時間的に余裕がなく、集客に苦慮する
- がん化学療法の研修・人材育成に関して話し合う機会の少なさ・見解の不一致
 - 機会をつくための機運が盛り上がっていない。共通の課題があるはずであるが、それを話し合う機会がない
 - 研修会に参加する医師が少なく、特にがん化学療法のチーム医療について、医師の関心が薄い
- 人材・予算不足
 - 認定看護師教育課程において薬物療法専門看護師を養成しているが、人数が限られている
 - 現場の医師、看護師、薬剤師等だけで研修や人材育成を行うことは不可能であり、予算とともに事務的作業を担う人材の確保が必要
- 各施設間の質の評価が困難
 - 各病院団体、学会など主催で講習会などおこなったり、各施設でのカリキュラムにしたがって実施しているが、一定の水準に達しているか否かという質の評価はできていない(施設間でレベルにばらつきがある可能性が高い)

IV-1. 都道府県内の施設に向けたがん薬物療法の研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など

- オンライン形式の研修における支援
 - WEB研修における注意点、効果的な研修のノウハウを教えてください
- 講師の派遣や紹介、研修教材の共有や支援
 - 2021年度から研修・人材育成を開始したいので、講師派遣・研修教材などの支援をお願いしたい
 - 共通の研修教材があればぜひとも活用させていただきたい
- 先行・先進的な取組を実施している施設・地域の取組の共有
 - 先行・先進地域の事例について紹介していただき参考とさせていただきます
 - 管理的視点で外来化学療法室運営に参画できる人材育成を目的に、先進的な取り組みを行っている施設の方のお話を伺いたい
- 事務局も含めた人材育成や予算等の支援
 - がんゲノム診療の協力者(クラークなど)の養成が急務
 - 事務局が現在は当院の総務部のボランティア的なご支援で成り立っている。毎年がん化学療法チーム研修会を6年継続で企画実施しており、継続できている地域については事務局の人件費相当の支援など、何らかのインセンティブがあると有難い
 - 必要とされる研修・人材育成とは何か、そのためにはどのようなプログラムとすべきか、そのプログラムを実施するために必要な講師や研修教材とは何か、といった課題を解決するため、人的・予算的支援が必要
- 国立がん研究センター主催のがん化学療法チーム研修に参加予定
 - 今年度の国立がん研究センター主催のがん化学療法チーム研修に参加を予定しており、それを機に県内各施設の課題の共有から始めて、がん化学療法部会のような仕組みをつくっていきたい

IV-2. 都道府県内の施設に向けた、都道府県内の 緩和ケアチームに関する研修

緩和ケアチームに関する研修等の実施について (N, %) ※重複回答あり N=43

	2019年度		2020年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
実施した	27	62.8	5	11.6
予定していたがコロナのため未実施	3	7.0	11	25.6
実施の予定はなく未実施	15	34.9	19	44.2
今後実施する予定	-	-	12	27.9
上記のいずれも回答なし	0	0.0	0	0.0

2019年度、2020年度に研修を実施しなかった理由(複数回答)	N
都道府県内で研修実施について話し合う機会がないから	3
担当がいなかったから	3
時間的に余裕が無かったから	7
必要性を感じていないから	0
どのように研修実施を実現すればよいかわからないから	3
他の機関が主催で実施していたため	1
予算が確保できなかったから	2
都道府県内の関係者の協力が得られないから	2
研修生が集まらないから	2
新型コロナウイルス感染症のため、研修開催ができなくなったから	19
その他	4

IV-2. 都道府県内の施設に向けた緩和ケアチームの 研修・人材育成に関する困りごとなど

- 集合形式での研修会開催・グループワーク、相互訪問が困難
- オンライン形式での研修会やピアレビューを検討しているが、開催方法が分からない
- 県面積が広く、人員面・費用面から集合形式での研修会開催が困難
- 集合形式での研修会は、オンライン形式と比べ参加者数が少ない
- 施設ごとに緩和ケアチームの役割や課題が異なるため、課題の集約や評価、効果的な研修企画が困難
 - ・ 県内の緩和ケアチームに格差があり、研修の目的や目標の設定など、効果的な研修企画に悩んでいる
 - ・ 病院の機能、人材のレベルが異なるため研修内容に対し実践が伴っているのがつかみにくい(実施後の評価、フォロー)
 - ・ 各施設で抱えているPCTの課題は様々であり、県全体として課題を集約して解決に向けた取り組みを行うという方向性に向っていない。そのため各施設が自施設の課題に対して独自で取り組んでいる状況。県に緩和ケア部会を置いているが、中央で各施設を集約するほどの機能は果たせていない
- 緩和ケアチーム研修会参加病院数が多くなり、各参加者の立場や意欲に温度差がある
- 適切なファシリテーターが不足している
- 緩和医療学会セルフチェックプログラムの普及が困難
- 緩和ケアチーム実地研修において、受け入れ先の一部の施設に負担が大きい
- 予算確保が困難

IV-2. 都道府県内の施設に向けた緩和ケアチームの研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など

- オンライン形式の研修会の内容や運営に関する情報共有・支援
- オンライン形式の研修会における機材やWEB環境の整備、運営の支援
- 緩和ケアチーム研修、ピアレビューにおけるモデルとなるような開催例の共有
- 研修教材の提供・共有、講師の派遣や紹介、運営の支援
 - ・ 各テーマ別(疼痛管理、鎮静、コミュニケーション、ACP)に推奨される講師がリストアップされ、派遣依頼ができるシステムが有ると助かります
- 研修・人材育成のための研修会の開催
- 研修会企画に関する相談窓口
- 患者家族の視点に合わせた、緩和ケアチームの評価指標の提示
 - ・ 緩和ケアチームの評価指標を依頼件数とするのではなく、患者家族の苦痛の改善度としてほしい
- 人材育成、人員の偏在を改善する施策
 - ・ 人材育成に対しては、施設に向けてというより、緩和ケア領域の医学教育から臨床研修制度、緩和ケア医認定制度、診療報酬などの整備により、やる気のある人材の発掘が必要と感じる
- 緩和ケアチームの役割や内容の理解の促進をできるよう、病院管理者に向け国立がんセンターからの発信
- 研修予算等の支援

IV-3. 都道府県内の施設に向けた、都道府県内のがん看護に関する研修

がん看護に関する研修等の実施について (N, %) ※重複回答あり N=43

	2019年度		2020年度	
実施した	35	81.4	6	14.0
予定していたがコロナのため未実施	2	4.7	17	39.5
実施の予定はなく未実施	6	14.0	8	18.6
今後実施する予定	-	-	17	39.5
上記のいずれも回答なし	3	7.0	3	7.0

2019年度、2020年度に研修を実施しなかった理由(複数回答)

	N
都道府県内で研修実施について話し合う機会がないから	4
担当がいなかったから	1
時間的に余裕が無かったから	3
必要性を感じていないから	0
どのように研修実施を実現すればよいかわからないから	2
他の機関が主催で実施していたため	2
予算が確保できなかったから	1
都道府県内の関係者の協力が得られないから	0
研修生が集まらないから	0
新型コロナウイルス感染症のため、研修開催ができなくなったから	15
その他	0

IV-3. 都道府県内の施設に向けたがん看護の 研修・人材育成に関する困りごとなど

- 感染症拡大防止のため、研修会の中止や延期、他施設からの受け入れが困難
- オンライン形式での研修会の企画、環境整備の課題
 - WEBを使用した研修が中心となるが、インタラクティブな研修の方法やアクティブラーニングの進め方などがわからず苦慮している。また、アンケートもWEBとなり、回収率が低下するとともに意欲のある受講者からのフィードバックが多く、改善点が見えにくい
 - 看護師は個人のデスクやPCを支給されていない場合が多く、WEB開催の研修への対応が困難な方が多い(特に平日)ので、新型コロナウイルス対策と研修開催の両立が難しい
- 研修会開催曜日や開催場所の課題
 - これまで土曜日に開催してきたが、クリニック等診療日の施設が多く、参加施設が限られてしまう。大学病院・総合病院などからの参加は少ない
- 中小病院のがん看護のスキルアップを図りたいが、参加者が少ない
- 参加者の背景が様々なため研修内容の企画が難しい
- 人材不足、研修会を企画する側の人材育成
 - 各拠点病院自前の講師のため、病院の制約やマンパワー不足の中で各自が時間を確保して行っているが、県内のがん看護の質向上のためという熱意で補っている
 - 長年、施設毎に院内外に向けた研修会を行っているが、県全体のがん看護の質の向上や人材育成に繋がっているとは言い切れない。研修を計画する人材が、効果的な研修を計画できるスキルを身に着ける必要があると感じている
- がん診療連携協議会で看護の課題が話し合われる機会が乏しい

IV-3. 都道府県内の施設に向けたがん看護の 研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など

- オンライン形式の研修会の内容や運営に関する情報共有・支援
 - 他施設ではどのように看護師対象のオンライン研修を開催しているのか、情報共有できる機会を作って頂きたい
- オンライン形式の研修会における機材やWEB環境の整備、運営の支援
 - オンライン研修を実施する際、WEB会議システムを理解し、使いこなせる人材がないとスムーズな開催が難しい。講師、ファシリテーターを兼ねながら、画面の切り替えや、参加者の意見を確認し対応するのは、かなり慣れている者でないとスムーズに行えないので、サポートしてくれる人材の派遣があると助かる
- 講師派遣のリスト、研修資料などの共有・支援
 - 講師派遣でお願いのできる講師のリスト、研修プログラムや資料など国内でがん看護を標準化でき、どこの病院でも同じ看護が受けられるよう、ベースとなるもの
- 各専門部会内等における、職種別の課題検討の場の設置
 - 各専門部会内で構わないので、職種別の検討の場を設けることは各職種が育成する上で参考になると考える
- 指導者研修など研修会を企画する側の研修の充実
 - 指導者研修がとても参考になる(企画や教材、講師とのネットワークづくりにおいて)ので、他のテーマにおいても実施してほしい
- 県内施設への研修案内に関する支援
- 認定看護師や専門看護師等の研修に関わる研修費等の助成
- 講師派遣や研修教材の予算確保等の支援

IV-4. 都道府県内の施設に向けた、都道府県内の **薬剤師**に関する研修

薬剤師に関する研修等の実施について (N, %) ※重複回答あり N=43

	2019年度		2020年度	
実施した	25	58.1	7	16.3
予定していたがコロナのため未実施	3	7.0	10	23.3
実施の予定はなく未実施	14	32.6	13	30.2
今後実施する予定	-	-	15	34.9
上記のいずれも回答なし	3	7.0	5	11.6

2019年度、2020年度に研修を実施しなかった理由(複数回答)	N
都道府県内で研修実施について話し合う機会がないから	7
担当者がいなかったから	3
時間的に余裕が無かったから	4
必要性を感じていないから	0
どのように研修実施を実現すればよいかわからないから	3
他の機関が主催で実施していたため	6
予算が確保できなかったから	3
都道府県内の関係者の協力が得られないから	1
研修生が集まらないから	1
新型コロナウイルス感染症のため、研修開催ができなくなったから	15
その他	1

IV-4. 都道府県内の施設に向けた**薬剤師**の 研修・人材育成に関する困りごとなど

- 感染症拡大防止のため、研修会・講演の中止・延期、オンライン形式等への変更
- 中小規模の病院や調剤薬局の薬剤師の研修会参加率、モチベーションが低い
 - ・ 他の機関(薬剤師会や学会など)が主催する研修を、がん専門病院など規模の大きな病院における薬剤師は受講することが多いが、中小規模の病院や調剤薬局における薬剤師は十分に受講しているとはいえず、研修参加に対するモチベーションも様々である
 - ・ 連携充実加算等により要望も強く、今後ますます病院以外の薬剤師の研修等も考えていかなければならないが、コロナや開催時間の問題もあり広域から集まりにくいことや、準備のための労力・金銭的な問題もある
- 県内のがん拠点病院の偏在による地域格差
 - ・ がん専門薬剤師取得のための研修施設が西部地区にしかなく、東部、中部の薬剤師にとってはひとつのハードルになっている
- 他県で行われている研修に関する情報等がなく、本県での研修の客観的評価が困難
- ワークショップ形式の研修会の場合、参加者が集まりにくい
- 研修会企画側の人員不足・スキル不足
- 研修会のテーマが企業や学会関連と重複しやすく、テーマ選定や複数回の企画が困難
- 講師選定、派遣依頼が困難
- 研修会実施担当者の退職による後任育成の課題
- 任意団体での研修会のため単位の交付ができない、認定薬剤師取得が困難

IV-4. 都道府県内の施設に向けた**薬剤師**の 研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など

■ 講師派遣、研修資料などの支援

- がん医療の実施件数が多い病院が研修会を主催し、各がん領域をシリーズで実施してほしいとの要望もある。初心者と資格取得者で研修内容は異なるが、まずは基本的なことについて録画配信する補助教材があるとよい
- 地域(遠方)の薬剤師でも参加できるような研修会用の教材があればよいと思う
- 研修会開催にあたり講師とその講師が講演可能なテーマの一覧があれば助かる

■ 研修会立案の支援

- 必要とされる研修・人材育成とは何か、そのためにはどのようなプログラムとすべきか、そのプログラムを実施するために必要な講師や研修教材とは何か、といった課題を解決するため、人的・予算的な支援が必要

■ オンライン形式の研修会の内容や運営に関する情報共有・支援

- Web開催においてグループワークを行う際のテクニックについてご紹介いただいたり、研修する機会(マニュアル等の作成でも可)があればありがたい

■ 研修会受講により、がん関連の資格取得の単位が付与されるような体制

- 開催した研修会が今後なんらかのがん関連の資格取得の単位となるような仕組みがあるとよい

■ 指導資格をもつ薬剤師の県内主要病院への派遣体制

- 研修施設を広げるために、指導資格をもつ薬剤師を県内主要病院へ派遣出来るような、大きな改革が必要

■ 認定研修の単位が取得できる研修の拡充、認定研修を実施可能な人材の育成

- 認定研修の単位が取得できる研修を増やすと同時に、認定研修を実施可能な人材を育成していただくと、認定を目指す薬剤師が参加しやすくなる

IV-5. 都道府県内の施設に向けた、都道府県内の がん薬物療法、緩和ケアチーム、看護師、薬剤師以外の研修

研修対象者・対象職種

がん相談員

医療ソーシャルワーカー

院内がん登録実務者、担当者

診療放射線技師

放射線治療担当技師

放射線物理士

理学療法士、作業療法士等

歯科医、歯科衛生士

がんゲノム診療担当者

栄養士・管理栄養士

臨床検査技師

臨床心理士

ピアサポーター

I 「都道府県がん診療連携協議会」の運営・活動状況について

1. 貴都道府県で設置している都道府県協議会の活動状況

No	施設	2019年度(2019.4~2020.3)						③開催日時
		①会議名	②開催方法					
			会場での集合会議	オンラインでの会議	メール・書面での会議	開催中止	その他	
1	北海道がんセンター	北海道がん診療連携協議会	○					2019.7.12
		相談・情報部会	○					2019.6.4
		北海道がん専門相談実務者会議	○					2019.6.14
		北海道がん専門相談実務者会議	○					2019.9.28
		北海道がん専門相談実務者会議	○					2019.12.20
		北海道がん専門相談実務者会議				○		2020.3.13
		がん登録部会	○					2019.9.12
		緩和ケア部会	○					2019.5.27
		医療の質改善部会	○					2019.7.12
		学校がん教育部会	○					2019.5.27
		研修部会			○			2019.6
		地域連携クリティカルパス部会			○			2019.6
		診療支援部会			○			2019.6
2	青森県立中央病院	青森県がん診療連携協議会	○					2019.9.13
		緩和ケア部会	○					2019.6.26
		緩和ケア部会			○			2020.3
		相談支援部会	○					2019.6.4
		相談支援部会			○			2020.3
3	岩手医科大学附属病院	岩手県がん診療連携協議会	○					2019.8.2
		がん登録部会	○					2019.7.5
		緩和ケア部会	○					2020.1.24
		化学療法部会	○					2019.11.18
		情報提供・相談支援部会	○					2019.8.21
4	宮城県立がんセンター	宮城県がん診療連携協議会	○					2019.8.29
		がん診療提供体制検討委員会	○					2019.6.26
		化学療法部会	○					2019.8.7
		化学療法部会	○					2019.12.23
		放射線治療部会		○				2019.9.18
		緩和ケア部会	○					2019.7.23
		緩和ケア部会			○			2020.3.13-27
		がん登録部会	○					2019.5.17
		がん登録部会	○					2020.3.13
		地域医療連携部会	○					2019.10.3
		地域医療連携部会				○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-
		患者相談部会	○					2019.6.4
		患者相談部会	○					2019.9.12
		患者相談部会	○					2020.1.21
		患者相談部会(実務者会議)	○					2019.6.4
		患者相談部会(実務者会議)	○					2019.10.1
		患者相談部会(実務者会議)	○					2020.1.21
口腔ケア部会	○					2019.7.5		
口腔ケア部会	○					2020.2.14		

		看護部会	○						2019.7.30
		看護部会				○		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	2020.3.5
6	秋田大学医学部附属病院	秋田県がん診療連携協議会	○						2019.7.29
		秋田県がん診療連携協議会	○						2020.2.10
		評価・改善部会	○						2019.6.22
		評価・改善部会	○						2019.12.14
		がん登録部会	○						2019.5.9
		緩和ケア・教育研修部会	○						2019.5.8
		緩和ケア・教育研修部会		○					2020.3.11
		がん患者相談部会	○						2019.6.8
		がん患者相談部会	○						2020.2.21
		化学療法・放射線療法部会	○						2019.8.10
		化学療法・放射線療法部会	○						2020.1.27
		7	山形県立中央病院	山形県がん診療連携協議会	○				
がん登録部会	○								2019.11
がん患者相談室部会	○								2019.8
緩和ケア部会	○								2019.9
研修教育部会	○								2019.6
地域連携パス部会	○								2019.7
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	茨城県がん診療連携協議会	○						2019.7.22
		研修部会	○						2019.6.26
		がん登録部会	○						2019.8.28
		相談支援部会	○						2020.2.21
		緩和ケア部会	○						2019.6.28
		放射線治療部会				○		R2.3.7に予定していた	-
		がんゲノム医療部会(第1回)	○						2019.8.29
		がんゲノム医療部会(第2回)				○		R2.3.4に予定していた	-
10	栃木県立がんセンター	栃木県がん診療連携協議会	○						2019.8.19
		PDCAサイクル部会	○						2019.12.2
		地域連携・研修部会	○						2019.10.28
		相談支援部会第1回	○						2019.7.19
		相談支援部会第2回	○						2019.11.6
		がん登録部会	○						2020.2.18
		緩和ケア部会第1回	○						2019.11.18
		緩和ケア部会第2回	○						2020.2.19
11	群馬大学医学部附属病院	がん登録部会	○						2019.7.30
		情報提供・相談支援部会	○						2019.7.31
		群馬県がん診療連携協議会	○						2019.9.2
		看護部会	○						2019.10.7
		緩和ケア部会	○						2020.2.13
		がん診療質の評価部会	○						2020.2.19
		地域連携パス部会					○	2020.4.8に延期	2020.3.5
		群馬県がん診療連携協議会					○	延期	2020.3.16
12	埼玉県立がんセンター	埼玉県がん診療連携協議会	○						2019.8.1
		埼玉県がん診療連携協議会				○			2020.2
		がん登録部会	○					がん登録実務者研修	2020.2.11
		相談支援作業部会 第1回	○						2019.5.25
		相談支援作業部会 第2回	○						2019.7.27
		相談支援作業部会 研修会	○						2019.10.26
		相談支援作業部会 第3回				○			2020.3
		研修教育部会	○					合同がんセンターボード	2020.2.1
看護部会	○						2019.12.6		

		緩和ケア部会	○						2020.1.11		
		PDCAサイクル部会 第1回	○						2019.7.5		
		PDCAサイクル部会 第2回	○						2019.11.22		
		PDCAサイクル部会 第3回				○		ピアレビュー	2020.3.19		
13	千葉県がんセンター	第1回千葉県がん診療連携協議会	○						2019.8.6		
		第2回千葉県がん診療連携協議会	○						2020.2.3		
		第1回教育研修専門部会	○						2019.7		
		第2回教育研修専門部会	○						2019.12		
		第1回院内がん登録専門部会	○						2019.7		
		第2回院内がん登録専門部会	○						2019.12		
		第1回相談支援専門部会	○						2019.7		
		第2回相談支援専門部会	○						2020.1		
		第1回緩和医療専門部会	○						2019.6		
		第2回緩和医療専門部会	○						2020.1		
		第1回地域連携クリティカルパス・臓器別腫瘍専門部会	○						2019.7		
		第2回地域連携クリティカルパス・臓器別腫瘍専門部会	○						2019.12		
		第1回PDCAサイクル専門部会	○						2019.7		
		第2回PDCAサイクル専門部会	○						2020.1		
		第1回がん看護研修部会	○						2019.6		
		第2回がん看護研修部会	○						2019.11		
		第1回口腔ケアパス部会	○						2019.6		
		第2回口腔ケアパス部会	○						2019.10		
		第1回肺がん部会	○						2019.11		
		第1回胃がん部会	○						2019.11		
		第1回大腸がん部会	○						2019.11		
		第1回肝がん部会	○						2019.10		
		第1回乳がん部会	○						2019.10		
		第1回子宮がん部会	○						2019.11		
		第1回前立腺がん部会	○						2019.11		
		第1回地域医療連携実務者連絡会議	○						2019.10		
		第1回緩和ケア地域連携部会	○						2019.11		
		14	東京都立駒込病院	第12回 東京都がん診療連携協議会	○						2019.5.24
				第15回 がん登録実務者連絡会	○						2019.6.6
				第14回 評価・改善部会	○						2019.7.5
第27回 相談・情報部会担当者連絡会	○								2019.7.31		
第28回 相談・情報部会担当者連絡会	○								2019.10.16		
第17回 クリティカルパス部会連携促進委員会	○								2019.11.27		
第15回 評価・改善部会	○								2019.12.13		
第16回 がん登録実務者連絡会	○								2020.1.31		
第29回 相談・情報部会担当者連絡会	○								2020.2.12		
第9回 相談・情報部会					○			2.26書面開催に変更	2020.3.4		
第12回 がん登録部会					○			2.26書面開催に変更	2020.3.9		
第16回 評価・改善部会					○			2.26書面開催に変更	2020.3.13		
第3回 クリティカルパス部会					○			2.26書面開催に変更	2020.3.18		
研修部会					○				2020.3		
緩和ケア部会					○				2020.3		
16	神奈川県立がんセンター			第1回 神奈川県がん診療連携協議会	○						2019.7.22
		第2回 神奈川県がん診療連携協議会				○			-		
		第1回 緩和ケア部会	○						2019.5.13		
		第2回 緩和ケア部会	○						2019.10.28		
		第1回 相談支援部会	○						2019.5.31		
		第2回 相談支援部会	○						2019.7.18		

		第3回 相談支援部会	○					2020.2.12
		地域連携クリティカルパス部会	○					2020.2.17
		第1回 がん登録部会	○					2019.6.7
		第2回 がん登録部会	○					2019.11.25
17	新潟県立がんセンター新潟病院	がん登録部会	○					2019.6
		情報連携部会	○					2019.7
		研修教育部会	○					2019.10
		緩和ケア部会	○					2019.10
		新潟県がん診療連携協議会	○					2019.11
18	富山県立中央病院	富山県がん診療連携協議会	○					2020.3.13
		研修部会			○			2020.2~3
		緩和ケア部会			○			2020.2~3
		がん登録部会	○					2019.5.23、 2020.2.14
		相談支援部会	○					2019.7.3、 2020.2.26
		地域連携クリティカルパス部会			○		新型コロナウイルスの影響により中止となり、後日書面送付	2020.2
19	金沢大学附属病院	石川県がん診療連携協議会		○				2019.8.21
		石川県がん診療連携協議会		○				2020.3.12
		がん登録部会			○			2020.2.19
		研修・連携部会			○			2020.3.5
21	山梨県立中央病院	緩和ケア部会	○					2019.5.23
		相談支援部会	○					2019.5.24
		院内がん登録部会	○					2019.6.14
		相談支援部会	○					2019.9.20
		PDCAサイクル推進委員会	○					2019.12.18
		相談支援部会	○					2020.2.14
		PDCAサイクル推進委員会				○		2020.2.27
		緩和ケア部会				○		2020.2.28
		山梨県がん診療連携拠点病院連絡協議会				○		2020.3.9
		山梨県がん診療連携拠点病院連絡協議会			○			2020.3.30
22	信州大学医学部附属病院	長野県がん診療連携協議会	○					2019.8
		がん登録部会	○					2019.7
		緩和ケア部会				○	新型コロナウイルス感染症の影響により	2020.2
		情報連携部会	○					2019.9
		研修教育部会					開催なし	-
23	岐阜大学医学部附属病院	岐阜県がん診療連携拠点病院協議会				○		2020.3.12
		連携パス専門部会	○					2019.7.19
		連携パス専門部会				○		2019.12.20
		緩和医療専門部会	○					2019.7.1
		緩和医療専門部会	○					2019.12.23
		がん情報専門部会				○		2019.7.1
		患者相談専門部会	○					2019.6.13
		患者相談専門部会						2019.12.19
		教育研修専門部会				○		2019.4.17
		教育研修専門部会				○		2020.1.17
24	静岡県立静岡がんセンター	静岡県がん診療連携協議会					○	延期
		相談支援部会	○					2019.5.30
		相談支援部会	○					2019.12.19
		緩和ケア部会	○					2020.1.29
		支持療法部会	○					2019.7.12
		支持療法部会	○					2019.10.29
		支持療法部会	○					2020.3.6
		小児・AYA世代がん部会	○					2019.8.16

		小児・AYA世代がん部会	○						2020.2.7
		愛知県がん診療連携協議会	○						2019.8.5
		相談支援部会				○			2020.3.11
		緩和ケア部会(第1回)	○						2019.7.26
		緩和ケア部会(第2回)	○						2020.1.29
		院内がん登録部会				○			2020.3.5
		地域連携クリニカルパス部会				○			2020.3.9
		看護部会(第1回)	○						2019.10.4
		看護部会(第2回)				○			2020.2.20
		PDCAサイクル推進検討部会(第1回)	○						2019.9.6
		PDCAサイクル推進検討部会(第2回)				○			2020.3.10
		滋賀県がん診療連携協議会	○			○			2019.8 2020.3
		企画運営委員会	○			○			2019.7 2020.3
		相談支援部会	○			○			2019.6 2019.11 2020.2
		地域連携部会	○			○			2019.8 2020.2
		がん登録推進部会	○			○			2019.7 2020.2
		診療支援部会	○			○			2019.6 2019.10 2020.2
		研修推進部会	○			○			2019.6 2019.10 2020.2
		緩和ケア推進部会	○			○			2019.7 2019.11 2020.3
		京都府がん医療戦略推進会議	○						2019.8.8
		院内がん登録部会	○					(2019年度は計5回開催)	4/11, 6/13, 8/1, 12/5, 2/13
		相談支援部会	○						2019.7/1, 12/16
		研修部会	○						2020.1.10
		緩和ケア部会	○						2020.2.19
		外来化学療法部会	○						2019.7.12
		地域連携部会				○			2020.3.2
		京都府がん医療戦略推進会議	○						2019.8
		院内がん登録部会	○						2019.4/11,6/13,8/1,12 /5,2020.2/13
		相談支援部会	○			○		2回開催、1回中止	2019.7.1,2019.12.6
		研修部会	○						2020.1.10
		緩和ケア部会	○						2020.2.19
		外来化学療法部会	○						2019.7
		地域連携部会				○			-
		府がん診療連携協議会相談支援センター部会	○						2019.6.22
		府がん診療連携協議会相談支援センター部会				○			2020.2.22
		第1回がん登録・情報提供部会	○						2019.7.10
		第2回がん登録・情報提供部会	○						2020.2.14
		第1回がん登録実務者研修会	○						2019.5.29
		第2回がん登録実務者研修会	○						2019.10.10
		第1回地域医療連携部会促進会議	○						2019.6.14
		第1回地域医療連携部会	○						2019.7.24
		第2回地域医療連携部会促進会議	○						2019.11.29
		第2回地域医療連携部会	○						2020.2.19
		第1回小児・AYA部会	○					大阪府小児がん患者家族ニーズ調査アナウンス および若年がん患者向け生殖機能温存パンフ レットの内容協議等	2019.7.3
		第2回小児・AYA部会	○					大阪府小児がん患者家族ニーズ調査結果報告 および大阪府の各拠点病院の小児・AYA世代が ん診療実績の公表についての協議等	2020.2.19
		令和1年第1回放射線治療部会	○						2019/6/26
		令和1年第2回放射線治療部会	○						2019/10/23
		令和1年第1回放射線治療部会ワークショップ				○			2020/2/27
		緩和ケア部会	○						2019.6
		緩和ケア部会				○			2020.2
		第1回大阪府がん診療連携協議会	○						2019/8/1

		第2回大阪府がん診療連携協議会	○						2020/3/4
31	兵庫県立がんセンター	兵庫県がん診療連携協議会	○						2019.4
		第1回兵庫県がん診療連携協議会幹事会	○						2019.6
		研修・教育部会 がん看護実務研修会	○						2019.6~8
		第5回 情報連携部会(就労関連合同会議)	○						2019.6
		がん登録部会	○						2019.6
		第6回 情報・連携部会(相談員研修)	○						2019.9
		第1回兵庫県院内がん登録実務者ミーティング	○						2019.9
		研修・教育部会 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会	○						2019.10
		研修・教育部会セミナー	○						2019.10
		研修・教育部会 第9回ひょうご県民がんフォーラム	○						2019.11
		研修・教育部会 放射線セミナー	○						2019.12
		第7回 情報・連携部会(ピアサポーターとの交流)	○						2019.12
		BRCA1/2検査に関する地域連合会議	○						2020.1
		研修・教育部会 第12回薬剤師セミナー	○						2020.1
		第2回兵庫県院内がん登録実務者ミーティング	○						2020.2
		第2回兵庫県がん診療連携協議会幹事会	○						2020.2
		緩和ケア部会フォローアップ研修会				○			2020.2
		第8回 情報・連携部会(PDCA評価)			○				2020.3
緩和ケア部会コアメンバー会議		○					2020.3		
32	奈良県立医科大学附属病院	第1回奈良県がん診療連携協議会	○						2019.8.8
		第2回奈良県がん診療連携協議会	○						2020.3.11
		第1回放射線療法分科会			○				2019.7.18
		第2回放射線療法分科会			○				2020.2.26
		化学療法分科会		○					2020.2.25
		第1回緩和ケア分科会	○						2019.5.13
		第2回緩和ケア分科会	○						2020.3.5
		第1回相談支援分科会	○						2019.6.6
		第2回相談支援分科会	○						2019.9.5
		第3回相談支援分科会	○						2019.12.5
		第1回地域連携分科会	○						2019.9.30
		第2回地域連携分科会	○						2020.2.14
		がん登録分科会			○				2020.3.13
		第1回がん診療合同カンファレンス	○					整備指針に定められるグループ指定先の地域がん診療病院との定期的な合同カンファレンス	2019.10.28
		第2回がん診療合同カンファレンス	○						2020.3.25
		33	和歌山県立医科大学附属病院	和歌山県がん診療連携協議会	○				
地域連携・相談支援部会	○								2019.7.9
地域連携・相談支援部会	○								2019.12.10
緩和ケア・研修教育部会						○			-
薬物療法部会	○								2020.1.25
がん登録部会	○								2019.6.26
和歌県がん診療連携協議会事務担当者会議	○								2019.7.17
34	鳥取大学医学部附属病院	第1回鳥取県がん診療連携協議会	○						2019.7.25
		第2回鳥取県がん診療連携協議会	○						2020.2.21
		相談支援部会	○						2019.12.15
		がん登録部会	○						2019.12.15
		緩和ケア部会	○						2019.12.15
		地域連携部会	○						2019.12.15
		手術療法部会	○						2019.12.15
		化学療法部会	○						2019.12.15
放射線治療部会							-		
		島根県がん診療ネットワーク協議会	○					2020.2.5	

35	島根大学医学部附属病院	がん相談員実務担当者会	○					2019.6.10		
		がん相談員実務担当者会	○	○			2ヶ所に集合し、オンライン	2020.1.23		
		がん診療部会	○					2019.11.19		
		島根県がん登録部会	○	○				2019.12.20		
		島根県がん登録実務担当者研究会	○					2019.7.20		
		島根県がん登録実務担当者研究会	○					2019.10.19		
36	岡山大学病院	岡山県がん診療連携協議会 第42回	○					2019.4.8		
		岡山県がん診療連携協議会 第43回	○					2019.7.29		
		PDCA部会 第1回	○					2019.12.9		
		がん相談支援実務者会議 第39回	○					2019.5.13		
		がん相談支援実務者会議 第40回	○					2019.9.9		
		がん相談支援実務者会議 第41回	○					2020.1.27		
		緩和ケア実務者会議 第23回	○					2019.8.26		
		緩和ケア実務者会議 第24回	○					2020.3.2		
		研修教育部会 第17回	○					2019.9.2		
		研修教育部会 第18回	○					2020.3.9		
		がん看護部会 第52回	○					2019.5.24		
		がん看護部会 第53回	○					2019.7.26		
		がん看護部会 第54回	○					2020.1.24		
		がん看護部会				○	コロナウイルスのため	2020.3.13		
		がん登録部会 第13回	○					2019.11.14		
		がん登録部会 第14回				○	コロナウイルスのため	2020.3.19		
		がん薬剤師専門部会	○					2019.11.21		
		歯科部門会議 第1回	○					2020.3.3		
		37	広島大学病院	広島県がん診療連携協議会(第1回)	○					2019.8.28
				広島県がん診療連携協議会(第2回)	○					2019.12.18
情報提供・相談支援部会(第1回)	○							2019.6.29		
情報提供・相談支援部会(第2回)	○							2019.10/19		
情報提供・相談支援部会(第3回)	○							2020.2.15		
院内がん登録部会(第1回)	○						併せて、院内がん登録広島県データ利用審査委員会も開催	2019.5.24		
院内がん登録部会(第2回)	○						併せて、院内がん登録広島県データ利用審査委員会も開催	2019.11.29		
緩和ケア部会(第1回)	○							2019.7.26		
緩和ケア部会(第2回)						○		2020.3		
38	山口大学医学部附属病院	山口県がん診療連携協議会	○					2019.8.9		
		山口県がん診療連携協議会 実務担当者会議	○					2019.11.1		
		山口県がん診療連携協議会 実務担当者会議	○					2020.2.20		
		がん登録部会	○					2019.5.31		
		がん登録部会	○					2020.2.28		
		がん相談支援部会	○					2019.5.17		
		がん相談支援部会	○					2019.12.17		
		がん相談支援部会				○		2020.3.5		
		クリティカルパス部会	○					2020.2.20		
		緩和ケア部会				○		2020.3.31		
		徳島県がん診療連携協議会				○		2019.3.9		
39	徳島大学病院	緩和ケア部会	○					2019.1.28		
		診療連携部会	○					2019.2.10		
		情報提供・相談支援部会	○					2019.2.14		
		徳島県がん診療連携協議会	○					2019.4.25		
		愛媛県がん診療連携協議会	○					2019.8.3		
		愛媛県がん診療連携協議会	○					2019.10.10		
		がん地域連携専門部会	○					2019.8.3		
		がん地域連携専門部会	○					2019.12.7		
		がん地域連携専門部会	○					2019.12.7		

41	四国がんセンター	緩和ケア専門部会	○					2019.8.3		
		緩和ケア専門部会	○					2019.12.7		
		がん相談支援専門部会	○					2019.8.3		
		がん相談支援専門部会	○					2019.12.7		
		がん登録専門部会	○					2019.8.3		
		がん登録専門部会	○					2019.12.7		
		がんの集学的治療専門部会	○					2019.8.3		
		がんの集学的治療専門部会						2019.12.7		
		がん看護専門部会	○					2019.9.24		
		がん看護専門部会	○					2020.1.28		
		PDCA部会	○					2019.7.16		
		PDCA部会	○					2019.12.7		
		42	高知大学医学部附属病院	第17回高知がん診療連携協議会	○					2019.9.17
				第18回高知がん診療連携協議会	○					2020.3.17
第14回情報提供・相談支援部会	○							2019.6.14		
第15回情報提供・相談支援部会	○							2019.12.6		
第16回情報提供・相談支援部会					○			2020.3.31		
緩和ケア部会	○							2020.1.24		
第1回がん生殖医療部会	○							2020.2		
高知がん診療連携協議会がん登録部会					○			2020.3		
43	九州がんセンター	福岡県がん診療連携協議会	○					2019.9.4		
		福岡県がん診療連携協議会			○			2020.3.2		
		研修・教育専門部会	○					2019.6.25		
		研修・教育専門部会	○					2019.8.21		
		研修・教育専門部会	○					2020.1.23		
		研修・教育専門部会	○					2020.3.3		
		地域連携・情報専門部会	○					2019.8.20		
		地域連携・情報専門部会	○					2020.2.7		
		がん登録専門部会	○					2019.7.19		
		がん登録専門部会	○					2020.2.17		
		緩和ケア専門部会	○					2019.8.1		
		緩和ケア専門部会	○					2020.1.23		
44	九州大学病院	第1回福岡県がん診療連携協議会	○					2019.9.4		
		第2回福岡県がん診療連携協議会			○			2020.3.17		
		第1回研修・教育専門部会	○					2019.6.25		
		第2回研修・教育専門部会			○			2019.8.21		
		第3回研修・教育専門部会			○			2020.1.23		
		第4回研修・教育専門部会			○			2020.3.3		
		第1回がん登録専門部会	○					2019.7.19		
		第2回がん登録専門部会	○					2020.2.17		
		第1回地域連携・情報専門部会	○					2019.8.20		
		第2回地域連携・情報専門部会	○					2020.2.7		
		第1回緩和ケア専門部会	○					2019.8.1		
		第2回緩和ケア専門部会	○					2020.1.23		
		45	佐賀大学医学部附属病院	院内がん登録データ収集・分析・評価推進WG			○			2019/4、5、7、11、 2020/2の合計5回
				佐賀県がん診療連携拠点病院 緩和ケア部会	○					2019.12.17
佐賀県がん診療連携協議会	○							2020.2.13		
相談支援部会	○							2019.4.18		
相談支援部会	○							2019.6.20		
相談支援部会	○							2019.8.21		
相談支援部会	○							2019.10.17		
相談支援部会	○					2019.12.19				

		相談支援部会	○						2020.2.19		
46	長崎大学病院	長崎県がん診療連携協議会(実務者会議)	○						2019.8.17		
		長崎県がん診療連携協議会幹事会	○						2019.11.18		
		長崎県がん診療連携協議会	○						2019.11.26		
47	熊本大学医学部附属病院	第1回熊本県がん診療連携協議会	○						2019.9.11		
		第2回熊本県がん診療連携協議会			○				2020.3.13		
		薬物療法部会	○						2019.7.22		
		第1回緩和ケア部会	○						2019.5.8		
		第2回緩和ケア部会	○						2019.10.30		
		第3回緩和ケア部会	○						2020.2.19		
		第40回相談支援情報連携部会	○						2019.6.4		
		第41回相談支援情報連携部会	○						2019.9.3		
		第42回相談支援情報連携部会	○						2019.12.10		
		第43回相談支援情報連携部会	○						2020.3.3		
		がん登録部会	○						2019.7.10		
		がん登録部会			○				2019.7.17～7.23		
		がん登録部会			○				2020.2.20～2.28		
		PDCAサイクル推進WG	○						2019.7.30		
		48	大分大学医学部附属病院	大分県がん診療連携協議会	○						2019.12.4
				研修専門部会	○						2019.10.11
がん登録専門部会	○								2019.9.18		
クリティカルパス専門部会	○								2019.8.23		
医師派遣専門部会					○				2019.11.29		
情報提供・相談支援専門部会	○								2019.7.4		
がん診療評価専門部会	○								2019.11.8		
緩和ケア専門部会	○								2020.2.20		
49	宮崎大学医学部附属病院	宮崎県がん診療連携協議会	○						2019.7.30		
		宮崎県がん診療連携協議会			○				2020.2.26		
		がん診療専門部会	○						2019.10.1		
		がん診療専門部会	○						2020.1.11		
		看護管理者専門部会	○						2019.10.7		
		看護管理者専門部会	○						2020.1.11		
		緩和医療専門部会	○						2020.1.11		
		緩和医療専門部会			○				2020.1.22		
		院内がん登録専門部会			○				2019.12.20		
		院内がん登録専門部会	○						2020.1.11		
		相談支援専門部会	○						2019.6.8		
		相談支援専門部会	○						2020.1.11		
50	鹿児島大学病院	鹿児島県がん診療連携協議会	○						2019.10.30		
		鹿児島県がん診療連携協議会四部門合同研修会	○						2019.8.31		
		鹿児島県がん診療連携協議会四部門合同研修会			○				2020.3		
		第1回がん相談支援部門会	○						2019.8.31		
		第2回がん相談支援部門会	○						2019.10.18		
		第3回がん相談支援部門会			○			重要事項等はメールで報告	2019.3.14		
		第1回緩和ケア部門会	○						2019.8.4		
		第2回緩和ケア部門会	○						2020.2.2		
		沖縄県がん診療連携協議会	○					令和元年度第1回	2019.5.13		
		沖縄県がん診療連携協議会	○					令和元年度第2回	2019.8.2		
		沖縄県がん診療連携協議会	○					令和元年度第3回	2019.11.1		
		沖縄県がん診療連携協議会	○					令和元年度第4回	2020.2.7		
		沖縄県がん診療連携協議会幹事会	○					令和元年度第1回	2019.4.8		
		沖縄県がん診療連携協議会幹事会	○					令和元年度第2回	2019.7.8		

51	琉球大学医学部附属病院	沖縄県がん診療連携協議会幹事会	○					令和元年度第3回	2019.10.21
		沖縄県がん診療連携協議会幹事会	○					令和元年度第4回	2019.1.24
		医療部会	○					令和元年度第1回	2019.12.25
		離島・へき地部会	○					令和元年度第1回	2019.6.11
		離島・へき地部会	○					令和元年度第2回	2019.9.10
		離島・へき地部会	○					令和元年度第3回	2019.12.10
		緩和ケア在宅医療部会	○					令和元年度第1回	2019.6.17
		緩和ケア在宅医療部会	○					令和元年度第2回	2019.9.25
		緩和ケア在宅医療部会	○					令和元年度第3回	2019.12.19
		緩和ケア在宅医療部会	○					令和元年度第4回	2020.3.18
		緩和ケア在宅医療部会研修ワーキング	○					令和元年度第1回	2019.5.20
		緩和ケア在宅医療部会研修ワーキング	○					令和元年度第2回	2019.11.18
		緩和ケア在宅医療部会在宅ワーキング	○					令和元年度第1回	2019.6.25
		緩和ケア在宅医療部会在宅ワーキング	○					令和元年度第2回	2019.9.17
		緩和ケア在宅医療部会在宅ワーキング	○					令和元年度第3回	2019.12.10
		緩和ケア在宅医療部会在宅ワーキング	○					令和元年度第4回	2020.3.24
		情報提供・相談支援部会	○					令和元年度第1回	2019.5.30
		情報提供・相談支援部会	○					令和元年度第2回	2019.7.25
		情報提供・相談支援部会	○					令和元年度第3回	2019.10.17
		情報提供・相談支援部会	○					令和元年度第4回	2020.2.6

I 「都道府県がん診療連携協議会」の運営・活動状況について

1. 貴都道府県で設置している都道府県協議会の活動状況

No	施設	2020年度(2020.4~2020.9)						③開催日時	
		①会議名	②開催方法						
			会場での集合会議	オンラインでの会議	メール・書面での会議	開催中止	その他		備考
1	北海道がんセンター	相談・情報部会			○			2020.6.24	
		北海道がん専門相談実務者会議				○		2020.6.12	
		北海道がん専門相談実務者会議				○		2020.9.26	
		がん登録部会		○				2020.9.10	
		緩和ケア部会			○			2020.4	
		緩和ケア部会			○			2020.6	
		緩和ケア部会			○			2020.9	
2	青森県立中央病院	青森県がん診療連携協議会	○				(予定)	2020.12	
		緩和ケア部会	○					2020.9.9	
		相談支援部会	○					2020.7.13	
		院内がん登録部会			○			2020.8	
3	岩手医科大学附属病院	岩手県がん診療連携協議会	○					2020.12	
		がん登録部会			○			2020.8.13	
		緩和ケア部会					○	検討中	-
		化学療法部会					○	検討中	-
		情報提供・相談支援部会			○				2020.11
4	宮城県立がんセンター	宮城県がん診療連携協議会		○				2020.9.28	
		がん診療提供体制検討委員会	○					2020.8.3	
		化学療法部会		○				2020.7.27	
		緩和ケア部会		○				2020.7.6	
		がん登録部会		○				2020.7.16	
		口腔ケア部会		○				2020.7.31	
6	秋田大学医学部附属病院	秋田県がん診療連携協議会			○			2020.7	
		評価・改善部会	○					2020.7.18	
		がん登録部会		○				2020.6.30	
		緩和ケア・教育研修部会		○				2020.6.10	
		がん患者相談部会		○				2020.7.3	
		がんゲノム医療部会立ち上げ						-	
		AYA世代がん医療部会立ち上げ						-	
7	山形県立中央病院	山形県がん診療連携協議会	○					2021.1	
		がん登録部会	○					2020.11	
		がん患者相談室部会	○					2020.7	
		緩和ケア部会	○					2020.8	
		教育研修部会			○			2020.6	
		地域連携パス部会			○			2020.7	
	茨城県がん診療連携協議会	研修部会			○			2020.7	
		がん登録部会		○				2020.8.27	
						○	7/13→12/3(延期,Webに変更して開催予定)	-	

9	茨城県立中央病院・ 茨城県地域がんセンター	相談支援部会					1月にWeb開催予定	-	
		緩和ケア部会			○			2020.7	
		放射線治療部会						11月以降に予定	-
		がんゲノム医療部会		○					2020.6.23
10	栃木県立がんセンター	PDCAサイクル部会		○				2020.9.2	
11	群馬大学医学部附属病院	地域連携パス部会			○			2020.4.8	
		看護部会			○			2020.5.29	
		情報提供・相談支援部会		○					2020.9.9
12	埼玉県立がんセンター	埼玉県がん診療連携協議会				○		2020.8.13	
		がん登録部会				○	がん登録実務者研修	2020.7	
		情報連携部会					○	開催方法・開催日検討中	-
		相談支援作業部会 第1回					○	5月→10月に延期(メール会議)	-
		緩和ケア部会				○			-
		PDCAサイクル部会 第1回		○				がん診療体制の質評価システム研究会参加	2020.8.8
13	千葉県がんセンター	第1回千葉県がん診療連携協議会		○				2020.7.28	
		第1回教育研修専門部会		○				2020.7	
		第1回院内がん登録専門部会		○					2020.6
		第1回相談支援専門部会		○					2020.6
		第1回緩和医療専門部会		○					2020.6
		第1回地域連携クリティカルパス・ 臓器別腫瘍専門部会		○					2020.7
		第1回PDCAサイクル専門部会		○					2020.7
		第1回小児がん専門部会		○					2020.6
14	東京都立駒込病院	第13回 東京都がん診療連携協議会			○			2020.6.4	
		第30回 相談・情報部会担当者連絡会			○			2020.6.11	
		第17回 評価・改善部会			○				2020.7.6
		第13回 がん登録実務者連絡会			○				2020.7.16
16	神奈川県立がんセンター	第1回 神奈川県がん診療連携協議会		○				2020.7.27	
		第1回 相談支援部会		○					2020.9.1
17	新潟県立がんセンター新潟病院	がん登録部会			○			2020.6	
		情報連携部会			○				2020.10
		研修教育部会			○				2020.10
		緩和ケア部会		○					2020.10
		新潟県がん診療連携協議会	○	○					2020.11
18	富山県立中央病院	-					-	-	
19	金沢大学附属病院	-					-	-	
21	山梨県立中央病院	相談支援部会		○				2020.6.29	
		院内がん登録部会			○				2020.6.29
		緩和ケア部会			○				2020.7.13
		相談支援部会		○					2020.7.27
22	信州大学医学部附属病院	長野県がん診療連携協議会					○	2020.11開催予定	-
		がん登録部会					○	開催予定(日程未定)	-
		緩和ケア部会			○				2020.8
		情報連携部会					○	2020.11開催予定	-
		研修教育部会					○	開催予定(日程未定)	-
23	岐阜大学医学部附属病院	連携パス専門部会		○				2020.9.11	
		緩和医療専門部会			○				2020.7.6
		がん情報専門部会			○				2020.7.10
		がん情報専門部会			○				2020.8.17

		患者相談専門部会			○				2020.6.18
24	静岡県立静岡がんセンター	-						-	-
25	愛知県がんセンター中央病院	緩和ケア部会(第1回)		○					2020.6.12
26	三重大学医学部附属病院								
27	滋賀県立総合病院	滋賀県がん診療連携協議会			○				2020.8
		企画運営委員会			○				2020.7
		相談支援部会			○				2020.9
		地域連携部会			○				-
		がん登録推進部会			○				2020.7
		診療支援部会			○				2020.6
		研修推進部会			○				-
28	京都大学医学部附属病院	緩和ケア推進部会			○				2020.7
		京都府がん医療戦略推進会議		○					2020.9.11
		院内がん登録部会				○			2020.4.9
		緩和ケア部会		○			外来化学療法部会との合同部会		2020.8.26
29	京都府立医科大学附属病院	外来化学療法部会		○			8/26は緩和ケア部会との合同部会		8/26,9/3
		京都府がん医療戦略推進会議		○					2020.9
		院内がん登録部会		○					6/11,8/20
		相談支援部会				○		新型コロナにより中止	-
		研修部会						未定	-
		緩和ケア部会		○					8/20
		外来化学療法部会		○					8/20
30	大阪国際がんセンター	地域連携部会						未定	-
		府がん診療連携協議会相談支援センター部会		○					2020.6.26
		がん登録・情報提供部会					○	集合会議開催を中止し、ウェブページで情報提供。	-
		第1回地域医療連携部会促進会議					○	メールにてアンケート調査を実施	2020.5
		第1回地域医療連携部会					○	メールにてアンケート調査を実施 第2回はweb開催予定12月	2020.6
		第1回小児・AYA部会				○			2020.7
		大阪府がん診療連携協議会 がんゲノム医療部会		○					2020.6
		令和2年第1回放射線治療部会ワークショップ		○					2020/8/21
31	兵庫県立がんセンター	緩和ケア部会			○				2020.6
		第1回大阪府がん診療連携協議会		○					2020/8/31
		兵庫県がん診療連携協議会				○			2020.4
		第1回兵庫県がん診療連携協議会幹事会				○			2020.6
		研修・教育部会 がん看護コアナース育成セミナー				○			-
		第9回 情報・連携部会(コロナ禍における現状と課題、web会議システム、年間活動計画)		○					2020.7
		第10回 情報・連携部会(相談員研修)		○					2020.9
		がん登録部会					○	下期開催検討中	-
		第1回兵庫県院内がん登録実務者ミーティング					○		-
		緩和ケア部会コアメンバー会議		○					2020.9
32	奈良県立医科大学附属病院	研修・教育部会セミナー	○	○				会場集合とオンライン視聴の併用	(2020.10)
		第10回ひょうご県民がんフォーラム	○	○				YOUTUBEによる配信(2週間)	(2020.10)
		放射線療法分科会				○			2020.4.16
		化学療法分科会(Webカンファレンス)		○					2020.5.14
		化学療法分科会(Webカンファレンス)		○					2020.7.16
32	奈良県立医科大学附属病院	化学療法分科会(Webカンファレンス)		○					2020.9.24
		相談支援分科会	○					少人数で感染対策を実施	2020.7.9

33	和歌山県立医科大学附属病院	和歌山県がん診療連携協議会	○						2020.8.26
		地域連携・相談支援部会		○					2020.9.8
		がん登録部会			○				-
		和歌県がん診療連携協議会 事務担当者会議				○			-
34	鳥取大学医学部附属病院	第1回鳥取県がん診療連携協議会	○						2020.7.17
		相談支援部会		○				12月か1月に開催予定	-
		がん登録部会		○				12月にWEBで開催予定	-
		緩和ケア部会							-
		地域連携部会							-
		手術療法部会							-
		化学療法部会							-
		放射線治療部会							-
35	島根大学医学部附属病院	がん相談員実務担当者会		○					2020.7.3
		島根県がん登録実務担当者研究会		○					2020.6.17
36	岡山大学病院	岡山県がん診療連携協議会					○	コロナウイルスのため開催延期、 資料送付のみ	2020.4
		岡山県がん診療連携協議会 第44回		○					2020.8.3
		がん相談支援実務者会議 第42回		○					2020.5.11
		がん相談支援実務者会議 第43回		○					2020.9.7
		がん看護部会 第55回			○				2020.6.15
		研修教育部会 第19回		○					2020.9.14
		がん薬剤師専門部会		○					2020.7.30
		緩和ケア実務者会議 第25回		○					2020.8.31
37	広島大学病院	広島県がん診療連携協議会(第1回)			○				2020.7
		情報提供・相談支援部会(第1回)			○				2020.7
		院内がん登録部会(第1回)			○			併せて、院内がん登録広島県デー タ利用審査委員会も開催	2020.7
		緩和ケア部会(第1回)		○					2020.7.15
38	山口大学医学部附属病院	-					-	-	
39	徳島大学病院	-					-	-	
41	四国がんセンター	愛媛県がん診療連携協議会							
		愛媛県がん診療連携協議会							
		愛媛県がん診療連携協議会							
		がん地域連携専門部会							
		緩和ケア専門部会							
		がん相談支援専門部会							
		がん登録専門部会							
		がんの集学的治療専門部会							
		がん看護専門部会							
		PDCA部会							
		がん登録専門部会							
42	高知大学医学部附属病院	第19回高知がん診療連携協議会			○				2020.8.14
		第17回情報提供・相談支援部会			○				2020.7.29
		緩和ケア部会		○					2020.7.29
		第2回がん生殖医療部会			○				2020.9
43	九州がんセンター	福岡県がん診療連携協議会		○					2020.9.16
		研修・教育専門部会		○					2020.8.26
		研修・教育専門部会			○				2020.9.8
		地域連携・情報専門部会		○					2020.8.28
		がん登録専門部会		○					2020.8.12

		緩和ケア専門部会		○					2020.8.6
44	九州大学病院	第1回福岡県がん診療連携協議会		○					2020.9.16
		第1回研修・教育専門部会		○					2020.8.16
		第2回研修・教育専門部会			○				2020.9.8
		第1回がん登録専門部会		○					2020.8.12
		第1回地域連携・情報専門部会		○					2020.8.28
		第1回緩和ケア専門部会		○					2020.8.6
45	佐賀大学医学部附属病院	院内がん登録データ収集・分析・評価推進WG			○				2020/6(2回)、8の合計3回
		相談支援部会			○				2020.4.16
		相談支援部会			○				2020.7.16
46	長崎大学病院	長崎県がん診療連携協議会(実務者会議)		○	○			部会(WG)毎でオンライン・メール	2020.7~8
		長崎県がん診療連携協議会幹事会	○	○					2020.9.4
		長崎県がん診療連携協議会	○	○					2020.10.13
47	熊本大学医学部附属病院	第1回緩和ケア部会			○				2020.5.27
		第44回相談支援情報連携部会		○					2020.6.9
		第45回相談支援情報連携部会		○					2020.9.8
		がん登録部会			○				2020.6.19~6.22
		がん登録部会			○				2020.8.24~8.28
		がん登録部会		○					2020.9.17
		PDCAサイクル推進WG			○				2020.9.14
48	大分大学医学部附属病院	大分県がん診療連携協議会	○					予定	2020.12.9
		研修専門部会			○				2020.10.13
		がん登録専門部会			○				2020.9.1-7
		クリティカルパス専門部会			○				2020.7.17
		医師派遣専門部会			○			予定	2020.11
		情報提供・相談支援専門部会						検討中	-
		がん診療評価専門部会	○					予定	2020.11.6
		緩和ケア専門部会						検討中	2020.2
49	宮崎大学医学部附属病院	相談支援専門部会		○				2020.6.26	
50	鹿児島大学病院	鹿児島県がん診療連携協議会四部門合同研修会			○				2020.8
		第1回がん相談支援部門会			○		重要事項等はメールで報告		2020.8.1
		第1回緩和ケア部門会			○				2020.8
51	琉球大学医学部附属病院	沖縄県がん診療連携協議会		○				令和2年度第1回	2020.5.8
		沖縄県がん診療連携協議会		○				令和2年度第2回	2020.8.7
		沖縄県がん診療連携協議会幹事会			○			令和2年度第1回(メールと電話審議)	2020.4.13
		沖縄県がん診療連携協議会幹事会	○					令和2年度第2回	2020.7.13
		医療部会		○				令和2年度第1回	2020.6.11
		医療部会		○				令和2年度第2回	2020.9.3
		離島・へき地部会		○				令和2年度第1回	2020.7.14
		離島・へき地部会		○				令和2年度第2回	2020.9.8
		緩和ケア在宅医療部会		○				令和2年度第1回	2020.6.15
		緩和ケア在宅医療部会		○				令和2年度第2回	2020.9.30
		緩和ケア在宅医療部会研修ワーキング		○				令和2年度第1回	2020.5.15
		緩和ケア在宅医療部会研修ワーキング		○				令和2年度第2回	2020.9.25
		緩和ケア在宅医療部会在宅ワーキング		○				令和2年度第1回	2020.7.29
		緩和ケア在宅医療部会在宅ワーキング		○				令和2年度第2回	2020.9.30
		情報提供・相談支援部会		○				令和2年度第1回	2020.5.14
情報提供・相談支援部会		○				令和2年度第2回	2020.7.9		

I 「都道府県がん診療連携協議会」の運営・活動状況について

2.3. コロナ禍において、貴都道府県協議会・部会の活動、都道府県単位での活動に関して

No	施設	2.取り組んだこと、工夫していることについて	3.困っていること、課題や問題などについて
1	北海道がんセンター	新型コロナウイルス感染予防対策から集合開催が難しいため、中止とせず、オンライン、書面、メールで開催した	新型コロナウイルス感染拡大の防止から集合形式での活動が困難ななか、オンライン等での開催への体制支援をお願いしたい。
2	青森県立中央病院	・会場の面積を昨年度よりも一回り広い会場としている(協議会) ・オンラインでの遠隔診療支援を実施している(緩和ケア部会) ・緩和ケア研修会の参加希望者を県拠点病院でとりまとめ、地域拠点病院に情報提供した(緩和ケア部会)	・発生状況によって協議会・部会や研修会開催の可否が左右されてしまう(協議会・緩和ケア部会・相談支援部会)
3	岩手医科大学附属病院	WEBやメール審議など、対面以外での活動をなるべく心掛けている。	研修会(ワークショップなど)は、やはり対面の方が理解度がより深まると考えており、WEB等の場合は、通常の研修会より、より丁寧な内容が求められていると感じている。 また、単純にWEBでの開催になれない方も多く、経験が必要と思われる。
4	宮城県立がんセンター	電子メール会議の実践	実際に病院を訪問して外部評価を行うことができない(化学療法部会では毎年相互訪問による評価を実施している)。
6	秋田大学医学部附属病院	・がん患者相談部会開催前に「新型コロナウイルス感染症に関する情報交換用紙」をメール配信し、がん相談における対策等(工夫していること、気を付けていること)、困っていること・不安なこと等を調査した。その結果を部会資料にしZOOM開催時に情報共有し、他病院での取り組みを参考にした。 ・WG活動は、ほぼメールで意見交換しながら進めている。	-
7	山形県立中央病院	一般的なコロナ対応に取り組んでいる。	特に、PEACEへの参加者制限を設けざるを得ないこと。 東北地区以外からの講師招へいは難しいこと。
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	Web会議やメール審議に変更するなどしつつ情報共有・話し合いの場を持つように取り組んでいる	部会主催の研修の中にはグループワークが必須なものがある。通常の会議をWeb変更するだけでも不慣れである。グループワークをWebで実施となるとかなりハードルが高い。また、開催したものの、講師のパソコンが不具合により、声が届かない等のトラブルがあった。
10	栃木県立がんセンター	集合形式による会議や研修会を取りやめ、Web形式に開催方法を変更して活動している。	研修形態を、集合形式からWeb形式に変更して実施する予定であるが、主催者、受講者共にWeb形式に慣れていないためグループワークなど受講者同士のコミュニケーションをいかに活性化させていくか悩んでいる。 また、集合研修では受講者同士が共同作業により助け合ったり、刺激を受けたりするという機会を得ることができるが、Web形式で同じような成果や効果をあげることができるかどうか等、研修の質の確保が課題である。
11	群馬大学医学部附属病院	実際に集まる会議を避け、オンライン会議、メール会議にて開催した。	オンラインでの開催では意見が出づらく、事務局側の一方的な話になりやすい。 委員が交代した時に直接話ができないため、相手との距離が縮めにくい。 研修会をオンラインで開催する場合、参加メンバーとのコミュニケーションを取りづらい。
13	千葉県がんセンター	会議は全てオンラインで行うことにした。	研修会を開催できない。
14	東京都立駒込病院	・2019年度後半に予定していた、集合会議および、集合研修を中止し、2020年度は、書面開催(実施済)、オンラインを利用した開催を予定している。 ・小規模な会議は、オンラインを活用して開催し、情報共有、意見交換などに取り組んでいる。	・協議会や部会が書面開催で行なわれる場合、取組みの内容が必ずしもしっかり伝わらないのではないかと危惧がある。 ・各種活動における、コロナ禍の対応が明確に示されていないため、整備を検討して欲しい。 ・オンラインを利用した研修等を実施した場合、音声機器の購入等、開催によって、生じる負担が多い。
16	神奈川県立がんセンター	オンライン形式で、協議会と部会を開催した。 研修会もオンライン形式での実施を予定している。	集合研修やピアレビューにおける現場訪問が困難なこと。
19	金沢大学附属病院	-	都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の開催が遅れていることから、石川県がん診療連携協議会の開催も見合わせている状況です。
22	信州大学医学部附属病院	集合での会議開催が難しいため、WEB会議システムを導入し、WEB開催にて行った。 システム上時間制限がある中、協議内容をできるだけわかりやすく簡潔にし、オンライン開催としては密な協議を行った。 意思表示カードの作成・活用や各病院の意識等協力を得て連携病院全員とのコミュニケーションを円滑にとることができた。 緩和ケアセミナーの開催については、メール審議を行うこととし、各拠点病院からの意見を集約し、県へ要望書を提出した。	すべての部門において、各種研修を行うことが難しい。 また、現場での問題の解決等を共有しあえる環境が作りにくく、各拠点病院においても機材などの設備もすぐには対応が難しい。 WEBで行うことも視野にあるが、一方通行な内容になることもあり、従来の集合研修とは違う工夫が必要。
24	静岡県立静岡がんセンター	・各拠点病院のコロナ対応医療関係物品のショートが懸念されたため、県と連携してマスク、ガウンなどの必要物品を調達して配布した。 ・当院の感染症対策の取り組みをベースにして 県全体のコロナウイルスへの感染対策策定に大きく貢献した。	・集合の会議の開催が難しいため、各医療機関同士の顔の見える連携が構築しづらい。 ・12月以降のオンライン会議開催を予定しているが、最新のパソコン等の機器の整備やウェブ機器の円滑な操作者の確保に課題がある。
25	愛知県がんセンター中央病院	昨年度の地域連携クリニカルパス部会および院内がん登録部会は集まることができなかつたため、メール・書面での会議とした。今年度の緩和ケア部会はWEB開催を実施した。 今後開催を予定している協議会・部会についてはWEBでの開催ができればと考えている。	WEBを利用した会議への参加機会は増えているが、実施主体になると、技術面で不安がある。 WEB開催で対応できない活動に関しては、中止せざるを得ないこと。 WEBでは、通信状況等により音声途切れ聞き取りにくいことや退席になってしまったりする問題がある。
27	滋賀県立総合病院	・情報および課題の共有を図り、必要に応じて対応を行っている ・講演会などオンラインも活用し、情報発信できるよう対応を進めている	・Webを使えない方などへの情報発信をどのようにしていくかが課題である
28	京都大学医学部附属病院	WEBやZOOM会議で感染防止に努めた。	WEBやZOOM会議では、ハウリング等により音声が聞き取りづらいこともあった。
29	京都府立医科大学附属病院	WEBやZOOM会議で感染防止に努めた。	WEBやZOOM会議では、ハウリング等により音声が聞き取りづらいこともあった。

30	大阪国際がんセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページやメーリングリストを用いて情報共有をはかること。 ・上半期の小児・AYA部会の開催を中止したが、メーリングリストを活用してアナウンス等を行い、予定していたアンケート調査事業を行っている。 ・アンケートを使用しネットで開催 ・特段の取り組みは実現していない。対象はコロナ対応最前線の施設もあるので、行政単位でも横並びでの取り組みは難しかった。 ・今年の3月にがんゲノム医療拠点病院・連携病院が整備されたが、ゲノム拠点病院・連携病院以外の病院もゲノム医療希望の患者が来るので、大阪府全体のネットワークを作るために、ゲノム医療部会を新設した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定、府指定をあわせると約70施設弱となり集合形式に比べオンライン形式の部会では意見発言、集約が難しい(相談支援センター部会) ・年初開始の大阪府がん診療連携協議会の拠点病院訪問の2巡目が中断されていること。訪問時の基礎資料となる現況報告書の提出も今年見送りとなったこと。 ・研修会の開催ができていないこと。従来の集合形式では密になりやすく、性質上積極的な会話を伴うため、座学のオンライン形式のように早期にウェブ化が実現していない。 ・大阪府がん診療連携協議会は都道府県がん診療連携拠点病院(1)、地域がん診療連携拠点病院(16)に加え、大阪府指定のがん診療拠点病院(50)の合計67病院から構成されている。当協議会が中心となり、会長・部会長および大阪府の担当者、患者会代表、当該二次医療圏の病院の代表者により、全病院を訪問し、実地調査を行ってきて、昨年春に1回目の調査を完了した。今年の1月から2回目の訪調査を開始したが、3月以後はコロナ禍で中止となっている。現地に行って、直接調査し確認することが必要なので、ウェブでは難しく、できるだけ早期に再開したい。 ・大阪府には8つの二次医療圏があり、各二次医療圏で地域がん診療拠点病院が中心となり、大阪府指定のがん診療拠点病院とともにネットワーク協議会を年に2回開催し、当協議会の会長と大阪府担当者が出席して、議論してきたが、今年度、現時点ではWeb開催も含めて2つの医療圏にとどまっており、各二次医療圏における活動が低下している。 ・大阪府ではがん教育を统一的に進める計画を策定し、大阪府下のすべての小学校・中学校・高校に医療スタッフががん教育を実施しに行く予定を立てており、がんプロフェッショナル養成プラン実施大学および大阪府がん診療連携協議会で担当を決めて、今年度から実施する予定であったが、コロナ禍で実現していない。
31	兵庫県立がんセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援の質向上のため、県下46のがん診療連携拠点病院の相談支援実務者を対象に、部会会議を行っている。例年、年4回対面による部会を行ってきたが、コロナウイルス感染拡大防止の観点で今年はweb会議に切り替えた。まず協議会議長にWeb会議システムの導入を依頼した。会議内容をWEB会議用に編集し、インターネット会議の環境整備を各病院でご準備いただくよう依頼、WEB会議システムの操作方法の探索と習得、スムーズな会議運営を行えるよう会議の予行演習を複数回行い、トラブルシューティングと対策を1つずつ決めた。今後、web開催運用のマニュアルを作成する予定(情報・連携部会) ・感染しない。密にならない方法での活動を検討。(がん登録部会) ・コアメンバー会議をZOOMで行っている。緩和ケア研修会の開催について、情報交換できるようにした。緩和ケアチーム研修会はZOOMで行う予定。可能なら緩和ケアフォローアップ研修会もWEB会議で行うよう模索中。(緩和ケア部会) ・フォーラム、セミナーの開催においては、会場は人数を制限して感染対策を行うとともに、同時にZOOMウェビナーによるオンライン配信を行った。(研修・教育部会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいことばかりで、どのように対応すればいいのか、わかるまで大変だった。全国で同じように苦労されているかと思う。都道府県を越えて、全国にあるノウハウや成功事例を中央で蓄積し、またweb会議マニュアルのひながたを作成して、共有できればありがたい。今年は、通常業務をこなしながらの対応だったので、業務にかなり負担がかかった。今後もそういうサポート部門(相談できる場所)があればありがたい。(情報・連携部会) ・集合研修開催で感染者が出ないか心配されること。(がん登録部会) ・緩和ケア研修会は、院内対象の開催が多く、地域医療者が受講できない。ロールプレイなど対面だけでなくでもできるようなノウハウを確立すべき。(緩和ケア部会)
32	奈良県立医科大学附属病院	オンライン会議システム(Cisco Webex)の利用を開始した。	対面(集合)での会議や研修会の開催が難しい。オンライン会議システムを利用した場合、セキュリティの問題点から取り扱う情報に注意が必要となる。
33	和歌山県立医科大学附属病院	部会や研修会はWeb会議システムを活用してできる限り開催している。緩和ケア研修会については多数の受講者が密にならないよう、会場を2箇所用意し、Web会議システムを活用して2つの会場をリンクさせるなど、工夫して開催する予定である。	施設によっては他施設への出張が禁止されている場合もあり、参加者をお呼びできない場合がある。できる限りWeb会議システムを活用して活動を継続しているが、運営スタッフの準備が大変である。また、PCやWeb会議システムの有料版アカウントの数が少ないなど、インフラが整っていない。
35	島根大学医学部附属病院	各種会議や研修会をオンラインで行った。がん登録実務認定・更新試験対策としてWebベースの演習問題に取り組んだ。	-
36	岡山大学病院	可能な限りオンライン会議を活用し、部会・研修会活動を継続。	オンラインでの会議・研修会開催を打診したところ、患者会やピアサポーター、特に高齢の方から技術的な問題で参加を断念されたケースがあった。
37	広島大学病院	(緩和ケア部会)2019年3月は、参加が困難だったため、メール会議としたが、7月はWebで実施した。	-
39	徳島大学病院	令和2年10月に徳島県がん診療連携協議会主催で徳島県民がんフォーラムを開催した。コロナ禍において集客が難しく、録画収録を行い後日、県内全域のケーブルテレビで放送する予定である。	コロナ患者数の増加時には、それぞれの病院内での対策が強化され、対面での集まりは行えなくなった。徐々にオンラインでの開催に移行しているが、コロナの状況に左右されない会議や会の開催方法の確立が望まれる。
41	四国がんセンター	・がん相談支援専門部会においては、可能な限りオンライン会議を開催し、メーリングリストメールで必要事項の共有や意見を交わし必要時にはメール審議を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援専門部会においては、研修会開催の打ち合わせ会を頻回にもせず、メール等では限界があり準備に苦労している。また、オンライン研修が可能となったものの、平日か土日開催によっても参加のしやすさや業務としての参加が認められるか否かなど施設により様々な事情があるため、思うほど多くない受講者数に課題が残る。オンライン会議を平日に開催したが、業務をしながら参加する施設もあり、施設の事情を考慮した会議開催の難しさを感じる。 ・緩和ケア研修会PEACEの開催の在り方について見直しが必要と考えます。令和2年度はコロナ禍での開催が事実上困難でした。On line会議の許可などを、ぜひご検討下さい。
42	高知大学医学部附属病院	・院内での相談件数が減少する中で図書館と連携し、がん相談会やがんに関連したパネル展示の掲載を行い、アウトリーチの取組強化を行った。委員の参加が難しかったため、メール会議を行った。	集合での部会開催が難しくメール会議にて実施しているが、発信者の一方的な課題提供となりがちで、意見交換等の協議事項を深めることはメール会議では困難と感じている。また癌サロンの中止が続いている施設も多く、癌患者同士で会話のできる場が少なくなっている。他施設通院中の癌患者に対して、サロン再開している施設の案内を行うことも検討すべき点ではあるが、再開しているサロンに人が集中することも感染管理上望ましくないことも考慮し、課題に向けての取組に二の足を踏んでいる状況でジレンマを感じている。今後オンライン会議を開催するにあたり、ホスト側としてオンライン会議の設定、準備など経験が無く、どのような準備をしていけば良いのか手探り状態で困っている。

43	九州がんセンター	対面開催とせず、オンラインでWEB開催とした。 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の部会について、国立がん研究センターより資料提供(YouTube及びPDF)がなされた。専門部会に先だて各施設に配信し、専門部会での報告の一助とした。	オンラインでのWEB開催のため、対面開催と比較し討議が十分に行えない。 オンラインで慣れない面、ハードが十分でないこともあり、討論に支障を来したこともあった。
44	九州大学病院	研修・教育専門部会では、コロナ禍での緩和ケア研修会の開催について、県内の高度型病院、大学病院の意見をとりまとめ、最低限の感染防止策を実施できるようチェックリストを作成した。	使用するWEB会議システムによっては、セキュリティの観点から、施設の規則によってオンライン会議に参加できない施設があり、一部の施設は開催施設に集合していただくことになった。
45	佐賀大学医学部附属病院	感染予防の観点からメール会議を実施。オンライン会議ツールを用いた開催についても準備を進めている。	地域相談支援フォーラムが開催延期となり、再開時期について考える際明確な基準もないため、企画に難渋している。
46	長崎大学病院	協議会内の各部会(WG)においては、年1回の集合形式の全体実務者会議とは別に、コロナ禍前から、積極的にオンラインでの会議を取り入れてきた。	オンライン会議では、集合会議と比較して積極的な発言が減少傾向にある。緩和部門での施設を訪問しての相互チェックがよりやりにくくなった。
47	熊本大学医学部附属病院	(放射線療法部会)例年約1回ペースで実施していた放射線治療に関する研修会は、感染拡大回避のために、今年度初めから休止していたが、11月より再開(対面と遠隔のハイブリッド形式)する予定。 (緩和ケア部会)書面会議であれWEB会議であれ、継続すること。 (がん登録部会)部会・情報交換会をWeb会議により開催、がん登録実務者向けの研修会をZoomによるオンラインセミナー(ライブ配信)にて開催予定、院内がん登録実施施設訪問をリモートによる聞き取りにて実施予定。	(放射線療法部会)外部講師(主として県外から)を招聘して施行していた放射線療法セミナーは、10月時点で開催予定を立てられない状況が続いている。
48	大分大学医学部附属病院	コロナ禍のため、多人数での会議の開催を控える風潮がある。そのため、当初の予定通りに会を開催できない状況である。	-
50	鹿児島大学病院	県単位2回の合同研修会を中止せざるを得なかった。以前より離島や僻地における拠点病院・指定病院参加者のために、集合形式を中心としながらもZoom形式での参加も可能な体制整備を行なって来ている(緩和、がん相談、化学療法、がん登録それぞれ契約)。参加病院の整備やアクセス許可が遅れたため8月は開催出来なかったが、12月には本体制下での開催を企画している。	-
51	琉球大学医学部附属病院	(協議会・幹事会・各部会) zoomを用いたWEB開催へのシフト (研修会等) Zoomを用いた研修会の開催へシフト 県外講師による遠隔講義、県内参加者は感染対策を十分に行い集合研修とした	・はじめは、zoomに慣れず、スムーズにいかないことがある。(画面共有に時間がかかってしまった、声が聞こえない、等)また、当日急な資料追加があった場合、印刷して配ることが出来ないことで時間がかかる。 ・同じ部屋で同時に2つ以上のPCでZOOM会議をするとハウリングが起こることを配慮した設置 ・ZOOMの運用に関する疑義やセキュリティに関する疑義に対する回答 ・相互評価等の対面での意見区間が実施できない ・集合会議ができないことで、一度調整した日程を延期にし、再調整に時間がかかった。

I 「都道府県がん診療連携協議会」の運営・活動状況について

4. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会において

No	施設	他の都道府県に聞きたいことや議論したいことについて
1	北海道がんセンター	新型コロナウイルス感染拡大の防止から集合形式での活動が困難ななか、オンライン等での開催への体制や実施方法について情報提供をいただきたい。
2	青森県立中央病院	・オンライン会議システムを使用した遠隔診療支援において、システムでやり取りすることとなる個人情報(電子カルテの画面や画像)の取扱いについて、他の都道府県に聞きたい。
4	宮城県立がんセンター	研修会や教材作成の具体的な中身を知りたい。
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	指定要件IV1(4)⑥「当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院、特定領域拠点病院、地域がん診療病院への診療支援を行う医師の派遣に係る調整を行うこと」とあるが、本県ではいずれの病院でも決して充足しているとは言えず、派遣に至っていないところである。医師派遣が機能している協議会があればお話を伺いたい。
11	群馬大学医学部附属病院	グループディスカッションをリモートで行なうときに、議論を活発にするのにどのような工夫をしているか？
12	埼玉県立がんセンター	リモート、web会議などどれくらい開催されているのか？ リモート、web会議を開催されている場合、参加率はどれくらいでしょうか？ 集合会議の時より参加率がよいのか悪いのかお聞きしたいです。
30	大阪国際がんセンター	オンライン時代の協議会の在り方
31	兵庫県立がんセンター	・新しいことばかりで、どのように対応すればいいのか、わかるまで大変だった。全国で同じように苦労されているかと思う。都道府県を越えて、全国にあるノウハウや成功事例を中央で蓄積し、またweb会議マニュアルのひながたを作成して、共有できればありがたい。今年は、通常業務をこなしながらの対応だったので、業務にかなり負担がかかった。今後もそういうサポート部門(相談できる場所)があればありがたい。(情報・連携部会) ・緩和ケア研修会の実態調査。開催しても、研修での本来の目的が達成できない可能性もある。(緩和ケア部会)
39	徳島大学病院	各都道府県内での活動状況について現状を知りたいです。
42	高知大学医学部附属病院	部会の開催方法や対面相談減少の対策として、メールやオンライン上での相談対応を実施されたのか等、他県の現状での取組状況を知りたい。また取組を行った結果についてもお伺いできると幸いです。
46	長崎大学病院	・両立支援の現状 ・がんゲノム診療に関する相談支援センターでの対応状況 ・外来化学療法件数の増加に対する対策
47	熊本大学医学部附属病院	(がん登録部会)コロナ禍においては、Web会議やオンラインセミナーの開催が主流となったが、コロナ終息後においても、Web会議やオンラインセミナーが基本となるのかあるいは参集、対面による会議や研修会の開催方式へ戻すことを検討しているか。

II 「がん診療連携拠点病院等の指定要件」の見直しについて

1. 今後、見直しが必要な項目と、その見直し案について

No	施設	ページ	項目	見直し案
1	北海道がんセンター	9	(2)診療従事者	エ 専任(現:専従)の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を1人以上配置すること。 カ 専任(現:専従)の病理診断に携わる(現:常勤)の医師を1人以上配置すること。
		10		なお、当該看護師はがん看護又は緩和ケアに関する専門資格を有する者であることが望ましい。(現:者であること。)
		20	3 都道府県拠点病院の診療機能強化に向けた要件	ア 緩和ケアセンターの機能を管理・調整する、専任(現:専従)のジェネラルマネージャーを配置すること。ジェネラルマネージャーは、常勤であり、かつ院内において管理的立場の看護師であること。また、当該看護師はがん看護に関する専門資格を有する者であることが望ましい。 イ アに規定するジェネラルマネージャーとは別に、専任(現:専従かつ常勤)の看護師を1名(現:2人)以上配置すること。なお、当該看護師はがん看護に関する専門資格を有する者であることが望ましい。(現:者であること。)
6	秋田大学医学部附属病院	9	(2)診療従事者 ①ウ 専従常勤の放射線治療医	放射線治療医が全国的に不足している中、地方に対しても「常勤」の要件を求めるのは厳しい。「地方の場合は原則常勤」とするなど、緩和措置を望む。
		9	(2)診療従事者 ①オ 緩和ケアチームにおける専任常勤の身体症状の緩和に携わる医師	本県では緩和ケアに携わる医師が不足しており、「常勤」の確保はどこの病院も難しい状況にある。「地方の場合は原則常勤」とするなど、緩和措置を望む。
		9	(2)診療従事者 ①オ 緩和ケアチームにおける常勤の精神症状の緩和に携わる医師	本県では緩和ケアに携わる医師が不足しており、「常勤」の確保はどこの病院も難しい状況にある。「地方の場合は原則常勤」とするなど、緩和措置を望む。
7	山形県立中央病院	12	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指	研修医やがん診療医の少ない地方の医療圏では、がん診療連携拠点病院全てで研修会を開催した場合に参加者も少なく、また講師も限られており非効率 ⇒自院で研修会を開催する規定を除外し、県内のいずれかのがん診療連携拠点病院で受講できれば可とする(県主導で開催してもOK)
13	千葉県がんセンター	8	II 1(1)⑥オ	必要ながんについて、地域連携クリティカルパスを整備すること。(「我が国に多いがんその他」を削除)
		16	II 7(2)	(2) 医療に係る安全管理を行う者として(1)に規定する医師に加え、常勤の医師、専任で常勤の薬剤師及び専従で常勤の看護師を配置すること。なお、当該医師については(1)に規定する医師との兼任を可とし、専任であることが望ましい。
		17	II 8(1) 追加	⑦ 同一医療圏に複数の地域拠点病院がある場合は、地域協議会を設置し、当該協議会は次に掲げる事項を行うこと。 ア 当該医療圏におけるがん診療及び相談支援の提供における連携協力体制について検討すること。 イ 当該医療圏におけるがん診療連携拠点病院、特定領域拠点病院が作成している地域連携クリティカルパスの一覧を作成・共有すること。 ウ 当該医療圏内の医療機関における診療、緩和ケア外来、相談支援センター、セカンドオピニオン、患者サロン、患者支援団体、在宅医療等へのアクセスについて情報を集約し医療機関間で共有するとともに、冊子やホームページ等でわかりやすく広報すること。
		20	IV 3(3)④	地域の病院や在宅療養支援診療所、ホスピス・緩和ケア病棟等の診療従事者と協働して、緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを定期的開催すること。(「月1回程度」を削除)
		20	IV 3(3)⑩ア	また、当該看護師は認定看護管理者の資格を有する者であることが望ましい。(「がん看護に関する専門資格」を差し替え)
		21	IV 3(3)⑩エ	緩和ケアセンターにおける相談支援業務に相談支援に携わる者を1人以上配置すること。また、当該者については相談支援センターの相談支援に携わる者との兼任および、相談支援センター内にて当該業務に従事することを可とする。(「専任の」を削除)
16	神奈川県立がんセンター	15	(2)院内がん登録 ③	専従で院内がん登録の実務を担う者について、配置数等を施設の類型を参考にするなど考慮していただきたい。
		15	(2)院内がん登録 ⑤	登録対象者の生存状況を確認に対し、具体的な把握率を指定していただきたい。(例:把握率90%以上)
		3	(1)診療機能 ①	我が国に多いがんおよびその他各医療機関が専門とするがんについて ⇨ 我が国に多いがんおよびその他各医療機関が専門とするがん、ならびに、希少がんについて
		4	(1)診療機能 ①ケ	…定期的な合同のカンファレンスを開催すること ⇨ WEB会議を含む定期的な合同のカンファレンスを開催すること
		6	(新規)がんゲノム医療の提供(⑤緩和ケアの直前を想定)	がんゲノム診療中核、拠点、あるいは連携病院として標準治療がない、あるいは終了したがん患者に対して適切な時期にがんゲノムパネル検査を提案し、検査結果に基づく方針が提案できるようにすること。自施設で検査が行えない施設は検査体制が整った医療機関と連携をとること。
		6	(新規)④薬物療法の提供体制	がん診療連携拠点病院は院外薬局と連携をはかり、がん薬物療法を受ける患者の処方内容や副作用情報の共有体制を整備すること。また、定期的な合等により新規治療薬や治療法について院外薬局と知識の共有に努めること

24	静岡県立静岡がんセンター	追加	支持療法への取組	患者及び患者家族に対して、治療に伴う有害事象に的確に対応できる診療体制、情報提供体制の整備をすすめ、全人的な治療体制を確立する。(要件案) がん認定看護師の配置 支持療法の研修受講
28	京都大学医学部附属病院	16	PDCAサイクルの確保	要件となる項目の明確化 (要件を達成できているかの指標が曖昧であり判断が困難なため)
30	大阪国際がんセンター	4	IIの1の(1)の①のコ	思春期と若年成人(Adolescent and Young Adult; AYA)世代(以下「AYA世代」という。)にあるがん患者については治療、就学、就労、生殖機能等に関する状況や希望について確認し、必要に応じて、対応できる多職種による支援体制を整備すること。
		7	II 1(1)⑤キ	患者や家族に対し、必要に応じて、アドバンス・ケア・プランニングを含めた意思決定支援を提供できる体制を整備すること。 また、院内や連携する地域の医療従事者を対象とした意思決定支援に関する研修を開催することが望ましい。 現在、住み慣れた地域で、本人が尊厳を保ち、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、地域包括ケアシステムの構築が推進されているところ。医療の資源や住民の文化は地域によって異なり、こういった地域包括システムも地域の特性を踏まえて構築していく必要がある。そこで、地域の拠点である国指定拠点病院が中心となって意思決定支援を担う人材を育成し、地域の意思決定支援(ACP)体制を構築していくよう、指定要件に意思決定支援に関する研修の開催を加えてはどうか。
32	奈良県立医科大学附属病院	12	3(1)	「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会」の開催について、初期研修医の研修プログラムに組み込む等、初期に必ず受講できる体制を整えるのが良いのではないかと。
33	和歌山県立医科大学附属病院	12	研修の実施体制	「当該研修については、実地での研修を行うなど、その内容を工夫するように努めること。」とあるが、新型コロナウイルス感染症流行の影響で実地開催が難しい場合が多く、Web開催も推奨されるような文言に改めてはどうか。

II 「がん診療連携拠点病院等の指定要件」の見直しについて

2. がん診療連携拠点病院制度の見直しに関する議論が行われるときに、現場から提案すべき事項で、特に重要なこと

No	施設	
6	秋田大学医学部附属病院	指針改正により厳格化された医療従事者や診療実績等の要件について、地方と都市部では、患者数や医療従事者数が大きく異なり、医師偏在の問題もあることから、地方の病院が都市部と同様の要件を充足することは非常に困難である。本県においては、要件を充足できない場合、空白の医療圏が生じる可能性もあるため、全国一律に要件を定めるのではなく、地方の実情等に配慮した要件に見直しをいただきたい。
7	山形県立中央病院	がん診療連携拠点病院に限った事ではないが、今後の「医師の働き方改革」に関連し、特定行為を行う看護師のがん診療への従事に関して、「がん診療に係わる医師の時間外労働削減のため、特定行為を行う看護師を活用すること」などの文言が入ると少しこの取り組みが前進するかもしれません。
13	千葉県がんセンター	同一医療圏における複数の地域拠点病院の指定について ・原則として一つのがん医療圏に1カ所の地域拠点病院を整備することとされている。「がん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しに関する報告書(平成30年7月31日)」にも記載されているが、複数設置できる場合の基準を明確にすべきではないか。 ・地域拠点病院(高度型)が指定されている場合、当該医療圏内における役割のあり方。
16	神奈川県立がんセンター	(がん薬物療法部会)外来化学療法加算の見直しは必須事項と考える。また、規定されている様々な会議等について、WEB開催を含めた柔軟な体制を許容することも提案していただきたい。新規治療開発の点で、治験や医師主導臨床試験の業績も拠点病院の案件としてご考慮いただきたい。 (相談支援部会)相談支援を担う職員の事務作業等の負担軽減のための取り組みについて考慮いただきたい。
17	新潟県立がんセンター新潟病院	がん診療連携拠点病院等の種類(H30.7月 整備指針)によれば、地域がん診療連携拠点病院と地域がん診療連携拠点病院(高度型)※新設とあります。現状での地域がん診療連携拠点病院(高度型)の指定状況はいかがでしょうか?がん医療の更なる充実につながっているのでしょうか?同一医療圏に複数の推薦があった場合の指定はどのように行われたのでしょうか?
23	岐阜大学医学部附属病院	【現況報告について】 1 「がん診療連携拠点病院」「がんゲノム医療」「小児がん連携病院」それぞれ提出依頼があるが、報告時期、報告内容も似通っている(実績報告等は対象期間が1か月ずれるなど)ことから、1本化を希望します。 2 設問事項に対して定義(実績の抽出条件等)を定めて各施設が同じ条件で回答ができることを希望します。
24	静岡県立静岡がんセンター	再発がんの内、著しくQOLを低下させる脳転移、骨転移に対する集学的治療体制の整備
27	滋賀県立総合病院	がんゲノム医療連携病院等(拠点病院、中核拠点病院含む)の指定を受けているがん診療連携拠点病院は多いですが、現場の運営面では両者を完全に分離して運用するのは人的・医療経済的資源及び事務的作業負担の観点から効率が悪いと考えます。指定要件、予算配分も含めて両拠点病院制度間の仕切りをなくし、可能な部分は一元化するのが一法と考えます。
30	大阪国際がんセンター	・【提案:現況報告の方法・項目を見直すこと】現況報告書は指定要件の確認に重要な資料で、信頼できる報告であることが前提であるが、現地訪問で事実とは異なると明らかになる場合も珍しくはない。感染症等で実地調査が困難になることを考えれば尚更である。大阪府がん診療連携協議会の有志による現況報告書に関する課題出しワーキングで、薬物療法のべ患者数の算出が現場で難しく、病院間で数値が大きく異なる原因になることが明らかになったことから、数値要件においては、別資料で確認できる数値等、明確なものを採用すべきである。作成者負担の軽減も必要で、方法を含めた見直しが望ましい。 ・AYA世代のがん患者のニーズは多様で、がん病棟の中で孤独を感じている患者も多い。都道府県及び地域がん診療連携拠点病院においては、AYA世代に対し、他の医療機関やがん相談支援センターに紹介するという現行の指定要件を満たすだけでなく、自施設の多職種によるチーム支援体制が必要と考えている。 ・外科NCDのような臨床に直結するoutcomeが出る仕組みを少なくとも拠点病院は備えるべきで、既存のがん登録のみでは現場で有用性は感じない。現場にとってはoutcomeこそすべてであるが、多忙過ぎて意見を発信できていない。その重要性に気付いてもらえないという無力感もある。 均霑化と同時に集中化も議論されていたように記憶しているが、具体化されていない。特に放射線治療は集約化による高精度治療の推進等の効果が出やすい分野である。また粒子線治療施設が増えてきており、集約化が必要な領域であり、何らかの言及が必要と思う。
31	兵庫県立がんセンター	①がん診療連携拠点病院の整備指針が制定されて10年あまりが経過して、その整備は定着しつつある。一方、都道府県がん診療連携拠点病院及び地域がん診療連携拠点病院の指定要件は改正ごとに厳しくなっており、現行の指定要件を満たす病院は限定される。今後は、地域がん診療連携拠点病院の指定要件を満たす病院はすべて指定いただきたい。このことにより、指定要件を満たす病院が明確となり、これらの病院が、各都道府県におけるがん診療の質の向上や及びがん診療の連携協力体制の整備を一層推進していくものと考えている。 ②地域がん診療連携拠点病院(高度型)の推薦については、診療機能等が高いものとして甲乙つけがたいがんの医療圏域がある。圏域で無用な軋轢等が生じる恐れもあり、今後は、高度型の指定要件を満たす病院はすべて指定いただきたい。
37	広島大学病院	・病院長(施設管理者)は就任時にPEACE研修を受講修了していること必須化していただきたいと思います。 ・薬物療法の提供体制充実に向けて、薬剤師外来の設置を「望ましい」条件として追加してはいかがでしょうか。 ・循環器内科、糖尿病内科の医師の配置(非常勤も可)を、診療従事者の項目に追加してはいかがでしょうか。
46	長崎大学病院	■がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針・診療実績について 現在、指針の見直しが行われており、要件がさらに厳格化される方向で検討が進んでいると聞いている。 現要件の診療実績は、 ① がん登録件数や手術件数、薬物療法延べ患者数等 ② 医療圏内の2割程度の診療実績 を概ね満たすこととされているが、この数値の厳守するような意見もあると聞く。 人口減少が著しい地方のなかでも、離島・半島においては、その傾向がより顕著に現れており、今後人口減の加速化は止めようがない。 施設や人的要件を満たし、これまでも当該医療機関において、がん診療の中核病院である医療機関が、患者数減という当該医療機関の自助努力では改善の見込みがないことまでも要件とするのはいかがなものか。 診療実績ではないが、診療従事者には、“2次医療圏の医師数が概ね300人を下回る2次医療圏においては”という条件付で医師等の一部の要件が緩和されていた。 診療実績についても、同様に地域性を考慮した要件とできないか前向きにご検討願いたい。

Ⅲ 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保の取り組みについて

1. 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクルの確保について

No	施設	①PDCAサイクルの確保に関する会議体の設置		②会議体の名称				③2019年度、2020年度に開催した会議の回数					④会議体の構成員数					⑤PDCAサイクルの確保についての検討の場				
		設置していない	設置している			2019年度 の回数	(集合・オンライン等) 開催方法	2020年度 の回数	(集合・オンライン等) 開催方法	5名以下	6～10名	11～15名	16～20名	21名以上	検討していない	都道府県がん診療連携拠点病院の担当者間	都道府県のがん診療連携協議会	都道府県内のがん診療連携専門部会	その他			
1	北海道がんセンター		○	医療の質改善部会	1回								○									
2	青森県立中央病院	○															○					
3	岩手医科大学附属病院	○															○					
4	宮城県立がんセンター																					
5	東北大学病院																					
6	秋田大学医学部附属病院		○	評価・改善部会	2回	集合	1回	集合				○			○	○						
7	山形県立中央病院	○															○					
8	福島県立医科大学附属病院																					
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	○													○	○						
10	栃木県立がんセンター		○	PDCAサイクル部会	1回	集合	1回	オンライン					○									
11	群馬大学医学部附属病院	○															○					
12	埼玉県立がんセンター		○	PDCAサイクル部会	2回	集合	1回	オンライン					○									
13	千葉県がんセンター		○	PDCAサイクル専門部会	2回	集合	1回	オンライン					○									
14	東京都立駒込病院		○	評価・改善部会	5回	集合3回 書面2回	2回	書面開催					○									
15	がん研究会有明病院																					
16	神奈川県立がんセンター	○															○					
17	新潟県立がんセンター新潟病院	○															○					
18	富山県立中央病院	○															○					
19	金沢大学附属病院	○													○							
20	福井県立病院																					
21	山梨県立中央病院		○	PDCAサイクル推進委員会	1回	集合	0回	-				○										
22	信州大学医学部附属病院		○	長野県がん診療連携拠点病院整備検討委員会(整備検討委員会議2回、機能評価3回) 情報連携部会、緩和ケア部会、がん登録部会、研修教育部会	7回	集合	1回	メール審議			○											
23	岐阜大学医学部附属病院	○															○					
24	静岡県立静岡がんセンター		○	①支持療法部会 ②相談支援部会 ③小児・AYA世代がん部会 ④緩和ケア部会	7回	集合	-	オンラインで計画中					○									
25	愛知県がんセンター中央病院		○	愛知県がん診療連携協議会PDCAサイクル推進検討部会	1回	集合	0回	-					○									
26	三重大学医学部附属病院																					
27	滋賀県立総合病院	○													○							
28	京都大学医学部附属病院	○													○	○						
29	京都府立医科大学附属病院	○													○	○						
30	大阪国際がんセンター	○												○		○						
31	兵庫県立がんセンター	○													○							
32	奈良県立医科大学附属病院		○	PDCAサイクル評価チーム委員会	1回	集合	0回	-		○												
33	和歌山県立医科大学附属病院	○													○	○						
34	鳥取大学医学部附属病院		○	鳥取県がん診療連携協議会	2回	集合	1回	集合					○									
35	島根大学医学部附属病院	○															○					
36	岡山大学病院		○	PDCA部会	1回	集合	0回	-				○										
37	広島大学病院	○													○	○						
38	山口大学医学部附属病院		○	山口県がん診療連携協議会実務担当者会議	2回	集合	0回	-				○										
39	徳島大学病院	○															○					
40	香川大学医学部附属病院																					
41	四国がんセンター		○	PDCA部会	3回	集合	2回	オンライン					○									
42	高知大学医学部附属病院	○													○							
43	九州がんセンター	○													○	○						

44	九州大学病院	○														○	○
45	佐賀大学医学部附属病院		○	佐賀県がん診療連携拠点病院緩和ケア部会	1回	集合	0回	-			○						
46	長崎大学病院	○												○		○	
47	熊本大学医学部附属病院		○	PDCAサイクル推進WG	1回	集合	1回	書面					○				
48	大分大学医学部附属病院		○	大分県がん診療連携協議会がん診療評価専門部会	1回	集合	0回	-			○						
49	宮崎大学医学部附属病院		○	がん診療連携協議会	2回	1回目 集合 2回目 書面	0回	-			○					○	○
50	鹿児島大学病院	○														○	○
51	琉球大学医学部附属病院		○	ベンチマーク部会、協議会、幹事会	8回	集合	4回	オンライン					○		○	○	○

Ⅲ 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保の取り組みについて

2. 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクルの確保について

No	施設	都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保に関する現時点の取り組み状況														
		①都道府県内のPDCAサイクルの確保に関する責任者		②都道府県内のPDCAサイクルの確保に関する実務担当者		③PDCAサイクル確保の方法を定めて都道府県内の取り組み		都道府県内のPDCAサイクルの確保の手段						その他		
		決めていない	決めている	決めていない	決めている	開始していない	開始している	現況報告書を用いたがん診療連携拠点病院の診療機能等の情報共有	院内がん登録のデータががん診療に関する情報共有	がん診療評価指標QIの研究(国立がん研究センター東尚弘)へ参加	がん診療連携拠点病院における診療体制に関する調査(東京大学大学院水島聡子)へ参加	都道府県内で定めたフォーマットを用いた各病院が取り組むがん診療の質の改善を目指した活動についての情報共有	特定のメンバーが訪問する形での病院の実地調査		病院間のメンバーが相互に訪問する形での病院の実地調査	
1	北海道がんセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	青森県立中央病院		○		○		○					○	○			○
3	岩手医科大学附属病院	○			○		○	○	○	○	○					
4	宮城県立がんセンター															
5	東北大学病院															
6	秋田大学医学部附属病院		○		○		○		○	○		○	○	○		
7	山形県立中央病院	○			○		○	○	○	○						
8	福島県立医科大学附属病院															
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター		○		○		○	○	○	○						
10	栃木県立がんセンター		○		○		○	○	○	○	○				○	
11	群馬大学医学部附属病院		○		○		○	○	○	○				○		○緩和医療学会緩和ケアチームセルフチェックプログラム
12	埼玉県立がんセンター		○		○		○				○					
13	千葉県がんセンター		○		○		○	○	○	○		○				
14	東京都立駒込病院		○		○		○	○	○	○		○			○	
15	がん研究会有明病院															
16	神奈川県立がんセンター	○			○		○			○	○	○			○	
17	新潟県立がんセンター新潟病院	○			○		○									-
18	富山県立中央病院		○		○		○									-
19	金沢大学附属病院	○			○		○	○				○			○	
20	福井県立病院															
21	山梨県立中央病院	○			○		○			○					○	
22	信州大学医学部附属病院		○		○		○	○	○	○		○	○	○		
23	岐阜大学医学部附属病院	○			○		○									-
24	静岡県立静岡がんセンター		○		○		○	○			○	○				
25	愛知県がんセンター中央病院		○		○		○			○		○				
26	三重大学医学部附属病院															
27	滋賀県立総合病院		○		○		○					○				
28	京都大学医学部附属病院		○		○		○									-
29	京都府立医科大学附属病院		○		○		○									-
30	大阪国際がんセンター		○		○		○	○				○	○	○		
31	兵庫県立がんセンター		○		○		○	○	○	○						
32	奈良県立医科大学附属病院		○		○		○	○	○						○	○原則訪問による実地調査としているが、今年度はWeb会議での開催を検討している
33	和歌山県立医科大学附属病院	○			○		○	○				○			○	
34	鳥取大学医学部附属病院		○		○		○	○			○	○				
35	島根大学医学部附属病院	○			○		○	○		○						
36	岡山大学病院		○		○		○	○	○	○						
37	広島大学病院		○		○		○	○				○			○	

38	山口大学医学部附属病院		○		○		○	○	○		○		○	○各種がん治療成績の評価(5年生存率など)
39	徳島大学病院		○		○		○	○	○		○		○	
40	香川大学医学部附属病院													
41	四国がんセンター		○		○		○	○	○	○	○		○	
42	高知大学医学部附属病院	○		○		○								
43	九州がんセンター	○		○		○							○	
44	九州大学病院	○		○		○							○	
45	佐賀大学医学部附属病院	○			○	○		○				○		
46	長崎大学病院	○			○		○	○				○	○	
47	熊本大学医学部附属病院		○		○		○					○		
48	大分大学医学部附属病院		○		○		○	○	○			○		
49	宮崎大学医学部附属病院		○		○	○		○					○	
50	鹿児島大学病院						○	○	○				○	
51	琉球大学医学部附属病院		○		○		○	○	○			○		

Ⅲ 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保の取り組みについて

2. 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクルの確保について

No	施設	都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保に関する現時点の取り組み状況													
		④PDCAサイクル等での都道府県内のがん診療の現状を踏まえた問題や課題について		⑤都道府県内のがん診療の課題や問題に基づく都道府県内で達成すべき共通の目標		(共通の目標を設定している場合)		⑥「都道府県がん対策推進計画」に基づく、都道府県内での共通の目標		⑦都道府県内共通の目標達成に向けた各がん診療連携拠点病院の行動計画		⑧都道府県内共通の目標達成に向けた各がん診療連携拠点病院の行動計画の進捗状況について、都道府県内のPDCAサイクル部会・委員会等での確認		⑨都道府県内で設定した目標達成状況について、PDCAサイクル部会・委員会等での評価	
		整理していない	整理している	設定していない	設定している	共通の目標	共通の指標	設定していない	設定している	立案していない	立案している	確認していない	確認している	評価していない	評価している
1	北海道がんセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	青森県立中央病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
3	岩手医科大学附属病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
4	宮城県立がんセンター														
5	東北大学病院														
6	秋田大学医学部附属病院	○	○	○	○	各部会及び各拠点病院等が各年度において目標を設定し、県内共通のPDCAサイクルシートに記載し共有する。	-	○	○	○	○	○	○		
7	山形県立中央病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
8	福島県立医科大学附属病院														
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	○	○	○	○	がん患者が適切な医療を受けられる体制の充実等 3項目	「日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医の配置 各がん診療連携拠点病院に1名以上配置」、「がん診療連携拠点病院等の「がん診療において、がん患者の主治医や担当者となる者」の緩和ケア研修会受講率90%以上」等 35項目	○	○	○	○	○	○		
10	栃木県立がんセンター	○	○	○	○	がん診療の質の向上	がん診療連携拠点病院における診療体制に関する調査における適合率	○	○	○	○	○	○		
11	群馬大学医学部附属病院	○	○	○	○	同意説明文書の整備	-	○	○	○	○	○	○		
12	埼玉県立がんセンター	○	○	○	○	①外来から在宅緩和ケア連携 ②がん治療前口腔ケア医科歯科連携	①紹介数 ②連携数	○	○	○	○	○	○		
13	千葉県がんセンター	○	○	○	○	・合同研修会の企画・実行(1企画5病院以上20人以上以上の参加) ・合同研修会への参加(3年間で、2企画以上の参加) ・院内がん登録者の確保とスキル向上 ・院内がん登録データの活用 ・院内がん登録データの利活用 ・県の全医療圏でピアサポーターズサロンちばが開催される ・相談支援の質向上のため、相談員基礎研修や県相談員研修会を受講する実務者が増える ・拠点病院においては、認定がん専門相談員が1人1人はいる体制になる ・地域催事での情報提供活動に参加する相談員が前年度より増える ・各病院の職員ががん相談支援センターを理解するための活動を年1回は開催する ・チーム活動の質を向上する ・「がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会」受講率を上げる。 ・各職別別クリティカルパスを利用可能で、利便性の高いパスを整備する ・臓器別部会が開催されなくても、パスの整備に支障を来さない運用方法を整備 ・コロナ感染症後の社会における地域連携あり方について、年度末にある一定の千葉県での方向性が出るよう検討する。 ・各病院の地域連携推進の取り組みを評価し、共有する。 ・医療者が小児がんに関する知識を習得することができる ・小児がんに関する情報提供の手段を確立する		○	○	○	○				
14	東京都立駒込病院	○	○	○	○	毎年設定(H31年度:周術期口腔ケアの充実 R1年度:緩和ケアの充実)	①自己評価票 ②チェックリスト	○	○	○	○	○	○		
15	がん研究会有明病院														
16	神奈川県立がんセンター	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
17	新潟県立がんセンター新潟病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
18	富山県立中央病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
19	金沢大学附属病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
20	福井県立病院														
21	山梨県立中央病院	○	○	○	○	苦痛のスクリーニングの普及	-	○	○	○	○	○	○		
22	信州大学医学部附属病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
23	岐阜大学医学部附属病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
24	静岡県立静岡がんセンター	○	○	○	○	がんて亡くなる県民の増加を抑える「県内の年間がん死亡者数」の減	がんて仕事を辞める県民を減らす「がん41になって働いている県民の内がんと診断されてから依頼退職又は解雇となったものの割合」	○	○	○	○	○	○		
25	愛知県がんセンター中央病院	○	○	○	○	免疫チェックポイント阻害薬の有害事象対策等	リスクアセスメント表	○	○	○	○	○	○		
26	三重大学医学部附属病院														
27	滋賀県立総合病院	○	○	○	○	○がん医療提供体制が整っている○専門的な医療従事者の配置がされる○インフォームドコンセントが充実している○技術的負担軽減された手術療法の提供体制が整っている○標準的な放射線療法が提供される○薬物療法が安全に提供される○科学的根拠に基づいた免疫療法が提供される○がんゲノム医療提供体制が整っている	○質の高い医療の均てん化(指定要件の充足)○セカンドオピニオン提供数○専門的な医療従事者の配置○インフォームドコンセントの医師以外の同席○定型的な術式の手術は二次保健医療圏で受けられる	○	○	○	○	○			
28	京都大学医学部附属病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
29	京都府立医科大学附属病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
30	大阪国際がんセンター	○	○	○	○	大阪府がん対策推進計画に基づき目標設定を行っている	大阪府がん対策推進計画に準じる(モニタリング指標などに準じる)	○	○	○	○	○	○		
31	兵庫県立がんセンター	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
32	奈良県立医科大学附属病院	○	○	○	○	基本理念「がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県」 1.がんにならない、がんて若い人が亡くならない 2.すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる 3.すべての県民ががんを知り、がんて向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる	めざすところ「がんて亡くならない県、日本一」 がん75歳未満年齢調整死亡率 27%減少	○	○	○	○	○			
33	和歌山県立医科大学附属病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
34	鳥取大学医学部附属病院	○	○	○	○	専門病院とかかりつけ医による切れ目のない安心で質の高い医療提供		○	○	○	○	○	○		
35	鳥根大学医学部附属病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		
36	岡山大学病院	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○		

37	広島大学病院		○	○		-		-		-		-		-
38	山口大学医学部附属病院		○		○	各種がんにおける生存率の公表、患者満足度調査の実施	-		○		○		○	○
39	徳島大学病院		○		○				○		○		○	○
40	香川大学医学部附属病院													
41	四国がんセンター		○		○	・同意文書の改善 ・診療ガイドラインの閲覧 ・外来での患者の情報共有の改善			○		○		○	○
42	高知大学医学部附属病院	○			○		-		○		○		○	○
43	九州がんセンター	○			○		-		○		○		○	○
44	九州大学病院	○			○		-		○		○		○	○
45	佐賀大学医学部附属病院		○		○		-		○		○		○	○
46	長崎大学病院		○		○		-		○		○		○	○
47	熊本大学医学部附属病院		○		○	1.がんのリハビリテーション体制の充実 2.緩和ケアの提供体制の向上 3.がん相談支援センターの周知 4.関係団体による就労支援	-		○		○		○	○
48	大分大学医学部附属病院		○		○	がん相談支援センターの周知を目標に広報活動を行う	-		○		○		○	○
49	宮崎大学医学部附属病院		○		○		-		○		○		○	○
50	鹿児島大学病院	○			○		-		-		-		-	-
51	琉球大学医学部附属病院		○		○	1.科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 2.患者本位のがん医療の実現 3.尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)の減少		○		○		○	○

Ⅲ 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保の取り組みについて

3.4.5 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクルの確保について

No	施設	3.PDCAサイクルの確保に関する取り組みにおいて、「工夫していること」または「問題点」等について	4.新型コロナウイルス感染症の流行に関連して、都道府県レベルでのPDCAサイクルの確保に関して、「工夫していること」または「問題点」等がございましたらご自由にご回答ください。	5.国立がん研究センターが行っている、各都道府県が都道府県レベルでのPDCAサイクルを確保していくことを支援するための取り組み(PDCAサイクルフォーラムの開催や、ホームページによる各都道府県への取り組みの紹介など)に関するご意見等
3	岩手医科大学附属病院	岩手県がん診療連携協議会の各部会にて、それぞれPDCAを回すよう部会で活動を行っている。	-	-
6	秋田大学医学部附属病院	相互訪問チェックを年2回開催し、その結果を受け入れ施設、訪問施設、ならびに県がん対策推進協議会でそれぞれフィードバックしている。秋田県第3期がん対策推進計画の中間評価として、それぞれ、2,000人規模の患者・医療者アンケート調査を行った。このアンケート調査は計画策定時にも行っており、この3年間の改善が見取れる様になっている。	相互訪問チェック参加者人数を絞らざるを得なかった。	素晴らしい企画であり、感謝しております。
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	部会・委員会によるチェックは行っていないが、PDCAサイクルについては各病院が日常的に実施していると考えている。今後県共通目標達成に向けたPDCAサイクル確保のために部会設置の必要性を検討する。	都道府県レベルでのPDCAサイクルの確保は県協議会にて実施している。令和2年度は7月に協議会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行に関連して都道府県拠点病院協議会が延期になったのを受け、延期した。このため昨年度事業のチェックが年度後半になってしまった。	PDCAサイクルの確保について学べるe-ラーニングがあると助かります。
10	栃木県立がんセンター	委員には、各病院の管理的立場の医師(幹部クラス)が就任している他、作業部会員として実務・事務担当者を置いている。また、事務レベルでの課題を共有するため、事務・実務担当者みでの会議を開催する予定である。	Web形式に形を変えて、部会を開催した。	PDCAサイクルフォーラムは取組にあたってとても参考になっている。
11	群馬大学医学部附属病院	部会ごとにPDCAサイクル確保をめざしており、PDCAサイクルに特化した部会は設置していない。各部会のPDCAサイクル責任者(=部会代表者)、実務担当者(都道府県拠点病院)が中心となり、コアメンバー会議実務担当者で方針を立て、部会でさらに検討し、実施している。	委員の方にも集ってもらう形式の委員会の開催が難しいため、Web会議で行なっているが、なかなか意見が出ず、代表者、事務局からの一方的な報告になりやすい。また、一部の部会で病院間相互チェックを始めたが、Covid-19の影響で延期となっている。	-
12	埼玉県立がんセンター	相互訪問、ピアレビューについて、今後の在り方が難しいと感じております。	まだ実施しておりませんが、オンライン会議を検討中です。	加藤先生にはいつもお世話になっております。今後ご指導よろしくお願いたします。
14	東京都立駒込病院	拠点病院間の実地調査(相互訪問)では、施設全体で医療圏ごとのブロックに分かれて活動を行っている。各ブロックは、ブロック長を決め、施設間で相互訪問の組み合わせ及び日程調整を行い相互訪問を実施する。実地訪問の際には共通の評価票を用いて施設の評価を行う。全施設の評価結果は部会にて報告・共有している。なお、テーマは、部会にて決定された東京都共通テーマを設定している。	・PDCA体制確保の一環として、第三者による評価、拠点病院間の実地調査(相互訪問)を実施しているが、今般の状況から実地調査の実施が困難な状況となっている。 ・集合会議を当面中止し、オンライン、書面開催等による情報共有。	各都道府県の取組、資料等を把握することができ、大変参考になっている。
16	神奈川県立がんセンター	相談支援部会において、PDCAに係る調査票を作成・集計し、部会内で共有している。緩和ケア部会、がん薬物療法部会において、ピアレビューを実施している。	ピアレビューの実施について、相互訪問を取りやめ、オンライン形式で施設の紹介を行っている。	-
24	静岡県立静岡がんセンター	-	①新型コロナウイルスの流行により県内がん診療体制、機能の低下を防ぐため、感染症対策物品の調達を積極的にすすめるとともに、当院倉井部長を中心として県の感染対策を検証・推進した。 ②感染者の早期発見・隔離等を確実に行うためにウイルス抗原検査機器を当院へ導入し、その後県内に同様の体制を整備した。	-
25	愛知県がんセンター中央病院	工夫していること:愛知県内のがん診療連携拠点病院のPDCAサイクルの標準化(ひな型)を構築した。Planは「テーマ選定」・「現状把握」・「目標設定」・「要因解析」・「対策立案」の5つから成る。そしてDo「実施」、Check「効果確認」、Act「今後の取り組み、標準化」の8つの段階を設定した。また、愛知県内のがん診療連携拠点病院全体で取り組む共通の取り組みを決め、県全体の均てん化を進めている。医師、看護師、薬剤師の職種別分科会を作り、各職種の視点から県全体のがん医療の向上につながる取り組みについて検討している。	1つの会場に集まりPDCAサイクル部会を行うのが困難となっている。そのため次回はweb開催を予定している。	他県の取り組みがわかりとてもいい取り組みだと考えます。
30	大阪国際がんセンター	がん診療連携協議会のメンバーで、府内がん拠点病院の現地実地調査を行っている 実地調査の際には同一二次医療圏の他拠点病院管理者(またはがん診療を統括する者)が同行し、相互訪問の要素も創出している 相談支援センター部会では、がん相談支援センターPDCAプロセス評価を行い公表している 緩和ケア部会では30項目に及ぶ「個別課題」に関して各拠点病院のPDCAサイクル評価を行い公表している 緩和ケア部会と相談支援センター部会との合同で大阪府がん拠点病院PDCAサイクルフォーラムの開催など部会レベルでの情報共有を行う	上記3.の現地実地調査(相互訪問)が中断している	-
32	奈良県立医科大学附属病院	・県の拠点病院である奈良県立医科大学附属病院が中心となり、「PDCAサイクル評価シート」を作成し、がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院および支援病院において実施している。また、「奈良県がん診療連携拠点病院PDCAサイクル評価委員会」として各拠点病院、地域がん診療病院および支援病院から担当の医師を選出し、訪問調査を行っている。この訪問調査には、看護師やMSWも参加しており、情報共有の場としても有効に活用されている。 ・行政(県庁)も非常に協力的で、拠点病院のがん診療連携協議会の取組にも積極的に参加し、さらに県のがん対策推進協議会や、その下の部会でもPDCAサイクルを取り入れて実施している。	-	-
33	和歌山県立医科大学附属病院	当県の緩和ケア部会では①部会での各拠点病院の実績報告及び評価②県内でのPDCAサイクルフォーラムの開催③拠点病院相互のピアレビューを3本柱としてPDCAサイクル確保を目指しているが、県内共通の目標の策定や具体的な改善行動に繋がっていないのが現状である。 また、相談支援部会ではPDCAサイクルのチェックリストを活用し、半期ごとに開催する部会で相互に情報共有している。	問題点としていくつかの研修会やフォーラムが開催中止となった。 研修や会議をなるべく開催できるよう、Web会議システムの活用や会場を複数用意して参加者を分散させる等、運営について工夫している。	-
34	鳥取大学医学部附属病院	がん診療研修会を開催し、各部会の実務者が集まり、今後の方向性について検討している。	集合研修の開催が難しくなっている。 インターネットを利用したオンラインミーティングの開催なども検討している。	-
36	岡山大学病院	医療従事者が不足している多忙な病院からは参加が難しい。研修会参加者の個人スキルや意識改革は期待できるが、病院執行部の理解が無いと病院の体制整備には繋がらない。	-	-
37	広島大学病院	毎年、特定の項目(テーマ)を決め、アンケート調査や拠点病院間の相互訪問等を通じて、各施設で取り組むべき課題を明らかにし、立案した改善計画に基づいて各施設でPDCAサイクルを回す。	-	-
39	徳島大学病院	徳島県のがん診療連携拠点病院の数が少なく、地域も近いことから各部会の実務者が実務者会を行い、その実務者会では様々な計画を立てており、その中にPDCAサイクルチームを設置してPDCAサイクルの確保に努めている。病院間で担当者が相互訪問を行ったり、実務者会の充実にも努めている。	病院間で担当者が訪問して評価を行っていたが、病院への立ち入り制限などで訪問しての調査が実施できていない。相互チェックを行う体制を模索中である。	-
42	高知大学医学部附属病院	昨年度より、高知県版PDCA実施状況チェックシートの見直しを行い、国立がん研究センターが出しているチェックシートの項目を全て網羅した内容に修正を行った。今年度より、新しい内容のチェックシートを各施設にて活用している。チェックシートの見直しを行うことができたが、県内ではPDCAのチェック項目を埋めることまででとどまっており、各施設や県内の課題の抽出や考察を行い、課題改善に向けての取組を行うまでに至っていないのが現状で課題と感じている。	院内での対面相談件数の減少を受けアウトリーチの強化として、県立図書館内で1ヶ月限定ではあるが、毎週土曜日の半日、がん相談会を開催した。 他施設の訪問が難しくなった。	-

43	九州がんセンター	PDCAサイクルの確保に関する取り組みは各専門部会においてそれぞれ実施しており、都道府県がん診療連携協議会にて報告を行っている。 PDCAサイクル部会を独立した部会として設置する場合、その構成員は既存の専門部会における各施設の構成員と重複することとなるため、負担軽減のためにPDCAサイクル部会は特に設置していない。	部会やワーキングなどにおいてこれまで行ってきた対面開催や相互訪問が不可能となった。オンラインでのWEB開催などの代替方法により実施しているが、従前のおり十分に活動ができていないとはいえない。各施設のWEB環境の整備状況に差があることも問題である。	-
44	九州大学病院	都道府県内に設置している各部会について、各施設の担当者が複数の部会を担当している現状がある。新たにPDCAサイクルの確保に関する部会・委員会等を設置することは、現時点では人的負担の面から各施設の足並みを揃えることが困難だと考えている。また、各部会の活動の中でPDCAサイクルを確保できていると考えている。	-	-
46	長崎大学病院	【薬物療法】各WGごとにPDCAサイクルを確保している。 【緩和医療】地方県であり専門職が増えないのが課題。そのため業務負担が年々重くなっており、相互訪問などが困難となっている。対策としてWEBを用いたテレビ会議により各施設のPDCAサイクルの共有や会議を行っている。 【相談支援】相談支援部門の全国共通版のPDCAサイクルの項目(S項目・A項目)に関して、2019年度に長崎県の拠点病院・推進病院がクリアした項目が4項目(番号 19.26.33.46)あった。そこで、新たに全国共通版のB項目の4項目(番号 7.15.17.23)を長崎県PDCAサイクルに追加した。	【薬物療法】Webを用いた会議を取り入れている。 【緩和医療】上記のような取り組みを行っているので例年通りの形態で行っている。	-
48	大分大学医学部附属病院	・昨年度、県作成の健康アプリを活用して、県内の一般市民を対象に、がん相談支援センターの認知度・利用状況に関するアンケート調査を実施した。今年度はその結果をもとに、SNSやメディア等を活用した周知活動を計画している。	県内のがん相談支援センター実務者が集合してイベント開催をすることが困難となった。現在は、各がん相談支援センターにおいて、感染予防対策を行いながら可能な範囲での活動を展開している	-
50	鹿児島大学病院	PDCAサイクルによる改善は、本県の拠点・指定病院の多くが総合病院である以上、がん診療分野だけで共通の目標を総論的に立てられるものでもない。とくに実臨床そのものの改善に関しては、病院独自の、あるいは派遣元である大学医局に依る所も大きい。がん医療に関しては、それ以外の緩和ケア、がん相談、化学療法やゲノム医療、がん登録等のそれぞれの部門での共通目標やPDCAによる評価(相互訪問も含む)と改善を図っている。	-	-
51	琉球大学医学部附属病院	県計画および協議会案の両方の良いところを用いて、指標を検討した。	-	-

39	徳島大学病院	○		1回			○													-	-		
40	香川大学医学部附属病院																						
41	四国がんセンター	○			○				1回											-	-		
42	高知大学医学部附属病院	○			○		○													○2020年度、がん薬物療法部会は設置されたが、部会議を行うまでには至っていない。	-	-	
43	九州がんセンター		○		○		○				○	○		○						各病院団体、学会など主催で講習会などおこなったり、各施設でそれぞれのカリキュラムにしたがって実施しているが、一定の水準に達しているか否かという質の評価はできていない。施設間でレベルにばらつきがある可能性が高い。	必要とされる研修・人材育成とは何か、そのためにはどのようなプログラムとすべきか、そのプログラムを実施するために必要な講師や研修教材とは何か、といった課題を解決するため、人的・予算的な支援が必要。		
44	九州大学病院		○	1回			○		○											○	-	-	
45	佐賀大学医学部附属病院	○			○		○														-	-	
46	長崎大学病院	○		1回		1回															長崎県の支援もあり専門認定看護師および薬剤師が増加した。がん薬物療法専門医が増えておらず、高齢化している。	-	
47	熊本大学医学部附属病院	○		1回			○													○	セミナー等は企画しておりますが、コロナ禍のため、計画ができない状態である。そのほか人材派遣等についても研修医プログラムがあり、中々実施できていない。	-	
48	大分大学医学部附属病院	○		2回					2回												人材不足である。	講師派遣や情報共有を進めたい。	
49	宮崎大学医学部附属病院	○		12回			○														-	-	
50	鹿児島大学病院	○		1回 2回予定していたが、1回はコロナで実施せず		1回			2回												-	-	
51	琉球大学医学部附属病院	○		○			○		○												○	-	-

31	兵庫県立がんセンター	○		1回																緩和ケアチーム研修会参加病院数が多く なってきたため温度差がある。病院事情の違 いだけでなく、参加者も各病院での緩和ケア 推進の核となっているかどうか不明。自分た ちのミッションは何かを考える会になっていな い。	緩和ケアチームの評価指標を依頼件数とし るのではなく、患者家族の苦痛の改善度とし てほしい。標準的な評価方法をしめしてほし い。	
32	奈良県立医科大学附属病院	○		1回				○												県内に緩和ケア医が少なく、人材育成が難し い。	-	
33	和歌山県立医科大学附属病院	○		1回				○												-	-	
34	鳥取大学医学部附属病院	○						○												○県内ではPCTに対する 研修計画というよりは、 現状で医療者全体に向 けた緩和ケアの質向上 に対する研修計画に取り 組んでいるため	各施設で抱えているPCTの課題は様々であ り、県全体として課題を解決に向け た取り組みを行うという方向性に向かっ ていない。そのため各施設が自施設の課題に 対して独自に取り組んでいる状況にある。県に 緩和ケア部会を置いているが、中央で各施 設を集約するほどの機能は果たせていな い。	-
35	島根大学医学部附属病院	-						○												県東部から西部まで移動に3時間以上かか るため、集合研修を行うには交通費・宿泊費 等の予算確保がきわめて困難です。また、テ レビ会議システムでの研修も検討していま した。器材の整備や個人情報保護・運営に 未だ問題があります。	Webでの研修会を検討していますが、器材 の整備や運営サポート、特に個人情報保護に 関する専門アドバイザー・支援などを願ひ できれば助かります。	
36	岡山大学病院	○						○												-	-	
37	広島大学病院	○		2回																コロナ禍において講義研修はWebで実施す ることができているが、グループワーク研 修の計画は困難になっている。	-	
38	山口大学医学部附属病院	○		1回				○												施設自体の規模や、施設間でチームメン バーにも差があり(職種の種類、専従かどう かetc)、それらをふまえた上で各施設のニ ーズに合ったテーマを決めるのが難しいです。	テーマを決めたり、そのテーマに沿った講師 選定について相談できる窓口がほしいです。 また、各都道府県が行った研修の資料など をクラウド上で共有できて自由にアクセスで きるようなシステムがあるとよいのではない かと思います。	
39	徳島大学病院	○		12回				7回												-	-	
40	香川大学医学部附属病院																					
41	四国がんセンター	○		1回				1回												-	-	
42	高知大学医学部附属病院	-						○												予算の確保が困難(雑費程度はあるが、講 師依頼などは難しい)	研修予算	
43	九州がんセンター	○		6回																「緩和ケアチーム研修」は、県内の拠点病院 持ち回り制で開催し2020年度はオンライン開 催となる予定で多くの参加が望めるが、集合 研修では参加が少ない。「緩和ケアチーム実 地研修」は、一部の施設だけで受け入れて実 施しているため、負担がかかるのが問題であ る。また、チームの医師が高齢化している施 設もあり、後継者としての人材不足が緩和ケ ア部会でも問題提起されている。	研修に対しては、研修教材として、緩和ケア の技能、知識などの程度に応じた教材(例え ば基礎編、中級編、上級編など)やグルー プワークを想定した教材があると助かります。 人材育成に対しては、施設に向けてというよ り、緩和ケア領域の医学教育から臨床研修 制度、緩和ケア医認定制度、診療報酬など の整備により、やる気のある人材の発掘が 必要と感じます。	
44	九州大学病院		○					○												-	-	
45	佐賀大学医学部附属病院		○					○												-	-	
46	長崎大学病院	○		1回																コロナウイルスのため集合研修が行いにくい ため、WEBでの講義、症例検討などを行う予 定。	他の県の取り組みや先進県などの情報を共 有いただける機会があれば助かります。	
47	熊本大学医学部附属病院	○		1回																-	-	
48	大分大学医学部附属病院	○						○												セルフチェックの浸透を目的に研修を実施し ているが、浸透しにくい状況。それぞれの病院 の特色はあるが、独自色が強い。それもきめ て相互に病院を行き来できると良いが、実現 していない。	そもそもこのようなことをどこに相談してよ いかかわからない。また予算もない。	
49	宮崎大学医学部附属病院	○		1回																-	講師派遣	
50	鹿児島大学病院	○		2回				1回	○											-	-	
51	琉球大学医学部附属病院	-						○												-	・緩和ケアチームを対象とした研修・人材育 成のための研修を行って欲しいです。 ・緩和ケアチームを対象とした研修・人材育 成のための講師派遣、運営サポート人材等 の支援を希望します。 ・研修資料の提供を希望します。	

33	和歌山県立医科大学附属病院	○		1回				○																	看護師は個人のデスクやPCを支給されていない場合が多く、WEB開催の研修への対応が困難な方が多い(特に平日)ので、新型コロナウイルス対策と研修開催の両立が難しい。結果として研修を中止せざるを得ない状況になっている。	Web開催でもスキルアップが望めるような研修カリキュラムやテーマ、手法があれば事例紹介いただけるとありがたいです。
34	鳥取大学医学部附属病院	○		26回			6回																		長年、施設毎に院内外に向けた研修会を行っているが、県全体のがん看護の質の向上や人材育成に繋がっているとは言い切れない。研修を計画する人材が、効果的な研修を計画できるスキルを身に付ける必要があると感じている。	-
35	島根大学医学部附属病院	○		2回				○																	県内には、中山間地、離島もあり、研修に参加しづらい環境にある病院も多い。現在、県中央部で研修を行っており、参加者は県中央部に在住する看護師が多い。中山間地、離島などへ出向き、研修を開催することを検討したが、経費もかかり、予算確保も難しい現状がある。Web研修についても検討しているが、器財が整わない、運営に自信が無いなどの状況がある。	Webを用いた研修などを、今後検討して行きたいが、Web会議に不慣れであり、運営のサポートや機材の整備などの支援を希望する。
36	岡山大学病院	○		2回			1回																		2020年はコロナ対策のため多くの施設で研修企画・実施を控えている状況がある。またがん診療連携拠点病院間の会議(がん看護部会)もできておらず、協議や情報共有などしづらい状況があり、例年企画・実施しているセミナーや交流会など開催できていない。	2020年はコロナ対策のため例年のような集合形式での研修企画・実施が困難である。今後も同様の状況が続くようであればzoomなどを使用したweb形式の研修を計画しないと見えないが、ホストになるための準備が必要であり経費と慣れない作業への手間がかかる。
37	広島大学病院		○	13回			4回																		-	-
38	山口大学医学部附属病院	○		2回			1回																		-	-
39	徳島大学病院	○		16回				○																	研修会場まで距離がある施設から参加が少ない。	遠隔からの研修参加ができる通信体制の整備。
40	香川大学医学部附属病院																									
41	四国がんセンター	○		18回			2回																		WEBを使用した研修が中心となるが、インタラクティブな研修の方法やアクティブラーニングの進め方などがわからず苦慮している。また、アンケートもWEBとなり、回収率が低下するとともに意欲のある受講者からのフィードバックが多く、改善点が見えにくい。	WEBを使用した、効果的な研修の進め方などは情報提供いただきたい。
42	高知大学医学部附属病院		○	3回				○																	-	-
43	九州がんセンター		○			○			○	○	○		○	○	○										-	-
44	九州大学病院		○			○			○																-	-
45	佐賀大学医学部附属病院	○		○				○																	・自施設の看護部で研修企画を行った際に、県内施設への案内の支援(協議会から一括しての案内など) ・認定看護師や専門看護師等の研修に関わる研修費等の助成	
46	長崎大学病院	○		1回				○					○												「専門分野における質の高い看護師育成事業(がん看護)」を2006年から県の施策として実施している。県内がん関連認定看護師の30%以上が研修修了者であり、一定の評価を得ている。県より研修方法の変更を提示され、どのような研修が良いか迷っている。新型コロナウイルスの影響もあり会議も開かれず、研修自体が遠切れとなりそうである。	-
47	熊本大学医学部附属病院	○		4回																					新型コロナウイルス感染症のため、安全に研修を開催するためにはオンライン研修が適していると考えます。しかしオンライン研修企画に不慣れなため、準備には時間を要しています。また、効果的に進めたか今後評価が必要と考えます。	新型コロナウイルス感染症予防の観点からは安全に研修や人材育成を推進するためにはオンライン研修が適していると考えます。安全で簡便に、各医療施設とオンライン上でつながるための情報通信機器(ICT)の整備やシステム構築のご支援を希望いたします。
48	大分大学医学部附属病院	○		1回				○																	-	-
49	宮崎大学医学部附属病院	○		1回				○																	-	-
50	鹿児島大学病院	○		3回				○																	県内の研修開催は、人材が充足し施設ごとに開催している現状があり、当院で開催しても参加が得られない地域もある。しかし、人材のいない施設に関しては地域がん診療連携拠点病院が中心となり、人材育成のための研修開催を計画したほうがよいと思うが、それができているのかどうか把握できていない。県の拠点病院として、地域拠点病院と協力のし、ニーズを調査したうえで出張講座や事例検討等を開催したほうがよい(訪問看護や介護スタッフ向け等)とは思うが、コロナの問題もあり実行できていない。	今回のアンケートで得られた結果等を参考にしたいため、研修内容はもう少し詳細に聞いてもよいのではないか。そのうえで県内の状況を把握し、当院の役割につなげていきたいと考える。
51	琉球大学医学部附属病院		-					-																	-	-

IV-4. 都道府県内のがん医療に携わる医療者の研修・人材育成についてのアンケート

薬剤師		1.都道府県のがん診療連携協議会等で、都道府県内の施設に向けたがん医療に従事する薬剤師の研修について検討する機会		2.都道府県内の施設に向けた、がん医療に従事する薬剤師の研修等の人材育成について																3.都道府県内の施設に向けたがん医療に従事する薬剤師の研修・人材育成に関する困りごとなど		4.都道府県内の施設に向けた研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など		
No	施設	ある	ない	①2019年度、2020年度に、都道府県内の施設に向けた、研修等の人材育成を実施								②2019年度、2020年度に研修をに未実施の施設研修未実施の理由(複数選択可)								-	-			
				2019年度				2020年度				都道府県内で話し合う機会がない				他の機関が主催で実施						予算が確保できなかった		
				1年実施した(1年未満で○)	2年実施した(1年未満で○)	3年実施した(1年未満で○)	4年実施した(1年未満で○)	5年実施した(1年未満で○)	今後、実施する予定(1年未満で○)	今後、実施する予定(1年未満で○)	都道府県内で話し合う機会がない	担当者がいなかった	時間的に余裕が無かった	必要性を感じていない	どのように研修を実施すればよいかかわからない	他の機関が主催で実施	予算が確保できなかった	都道府県内の関係者の協力が得られない	研修生が集まらない	新型コロナウイルス感染症の拡大で研修開催が難しくなっている	その他	-	-	
1	北海道がんセンター	○																						
2	青森県立中央病院	○																						2021年度から研修・人材育成を開始したいので、講師派遣・研修教材などの支援をお願いしたい。
3	岩手医科大学附属病院	○		3回					2回															平日、日中は業務がある為、週末の開催とせざるを得ない。今後はWEBなども活用し、参加しやすい環境を整備したい。
4	宮城県立がんセンター																							
5	東北大学病院																							
6	秋田大学医学部附属病院	○		1回																				
7	山形県立中央病院	○		1回																				今後、院外の調剤薬局との連携が重要になってくるが、調剤薬局薬剤師の研修会への参加率が低い
8	福島県立医科大学附属病院																							
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	○		2回																				ワークショップ形式で実施したほうが研修効果が高いと感じているが、ワークショップ形式の研修会の場合、参加者が集まりにくい。
10	栃木県立がんセンター	○		1回						1回														他県で行われている研修に関する情報等がなく、本県で行っている研修の客観的評価が難しい。
11	群馬大学医学部附属病院	○		2回																				研修課題作成の参考等にするために可能な範囲で研修教材を公開して頂ければと思います。
12	埼玉県立がんセンター	○		2回																				
13	千葉県がんセンター	○		○																				SGDを取り入れた研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合研修が開催できず、今年度は急遽当院の研修会の公開という形をとった。今後の開催方法が課題。
14	東京都立駒込病院																							
15	がん研究会有明病院	○		○																				
16	神奈川県立がんセンター	○																						連携充実加算等により要望も強く、今後ますます病院以外の薬剤師の研修等も考えていかなければならないが、コロナや開催時間の問題もあり広域から集まりにくいことや、準備のための労力・金銭的な問題もある。WEB等の開催を模索するが、病院経営も厳しいものがあるため研修の参加費を徴収するなど、ある程度の対価と仕組みを提示していただいたり、WEBの加入費等援助していただいたり、また、開催した研修会が今後ならんかのがん関連の資格取得の単位となるような仕組みがあるとよい
17	新潟県立がんセンター新潟病院			○																				
18	富山県立中央病院	○		1回																				
19	金沢大学附属病院	-		-																				
20	福井県立病院																							
21	山梨県立中央病院			○																				
22	信州大学医学部附属病院	○		○																				マンパワー不足
23	岐阜大学医学部附属病院	○		○																				研修提供者の研修を作るためのスキル不足
24	静岡県立静岡がんセンター	○		○																				新型コロナウイルス感染症対策のために 集合研修の開催が困難になっている。
25	愛知県がんセンター中央病院	○		1回																				企業や学会関連の勉強会などが複数あるなかで、どのようなテーマでの研修を実施すべきか迷うところがある。
26	三重大学医学部附属病院																							
27	滋賀県立総合病院	○		3回																				
28	京都大学医学部附属病院	○		1回																				
29	京都府立医科大学附属病院	○		3回						1回														
30	大阪国際がんセンター	○		4回						1回														当センター、大阪大学付属病院、急性期総合医療センター等8施設15名のメンバーが大阪府下の薬剤師を対象とした研修会を年1回程度行っているが、任意団体の為研修センター間など単位の交付が出来ない。
31	兵庫県立がんセンター	○		○																				研修会を開催するにあたりテーマを決めても講師選定に困る。
32	奈良県立医科大学附属病院	○		1回																				都道府県指導者養成研修(がん化学療法薬剤師研修会)を受講し、研修会の実施担当者として活動していた薬剤師(がん専門薬剤師)が退職してしまい、後任育成に苦慮している。
33	和歌山県立医科大学附属病院	○		1回																				今年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響から、講義のみWeb開催する予定をしており、例年行っているグループワークを中止することとしている。
34	鳥取大学医学部附属病院	○		1回																				がん専門薬剤師取得のための研修施設が西部地区にしかなく、東部、中部の薬剤師にとってはひとつのハードルになっている。研修施設を広げるために、指導資格をもつ薬剤師を県内主要病院へ派遣出来るような、大きな改革が必要と考えられている。
35	鳥根大学医学部附属病院	○																						○院内の他部門や鳥根県病院薬剤師会、鳥根県薬剤師会にて県内の薬剤師が対象となる研修会を開催しているため
36	岡山大学病院			○																				県内の人口配置に偏りがあるため、薬剤師の研修も都市部での開催が多く、地方からの参加が困難ということで、薬剤師研修は各地方を回りながら出張講演という形をとってきた。しかし今回のコロナの影響で、web形式を検討しているが、この方法だとどこからでも参加でき、出張講演する必要がなくなる。現場に行き、各地を回って、人脈を広げるといったメリットも出張講演にはあるため、どうすべきか迷っている。
37	広島大学病院	○		2回						2回														他の研修会と重複しやすいため、複数回の企画が困難であり、希少がん種や標準療法以外をテーマとした研修会を企画しづらい。

38	山口大学医学部附属病院	○					○													-	-		
39	徳島大学病院		○				○			○											-	-	
40	香川大学医学部附属病院																						
41	四国がんセンター	○					○		1回												-	-	
42	高知大学医学部附属病院		○				○	未記入													-	-	
43	九州がんセンター		○				○				○	○			○	○	○	○				他の機関(薬剤師会や学会など)が主催する研修を、がん専門病院など規模の大きな病院における薬剤師は受講することが多いが、中小規模の病院や調剤薬局における薬剤師は十分に受講しているとはいえず、研修参加に対するモチベーションも様々である。	必要とされる研修・人材育成とは何か、そのためにはどのようなプログラムとすべきか、そのプログラムを実施するために必要な講師や研修教材とは何か、といった課題を解決するため、人的・予算的な支援が必要。
44	九州大学病院		○			○														1回		○	
45	佐賀大学医学部附属病院	○		1回			○														-	-	
46	長崎大学病院	○					○		1回													認定に必要な症例を集めるまでに時間がかかるため、人事異動などで継続できないことも多い。	認定研修の単位が取得できる研修を増やすと同時に、認定研修を実施可能な人材を育成していただく、認定を目指す薬剤師が参加しやすくなる。
47	熊本大学医学部附属病院	-																			-	-	
48	大分大学医学部附属病院	○					○				○		○		○							県内のがん拠点病院に偏りがあるため、地域格差が生じていると思われる。その格差をどのように解決すればよいか検討している。	地域(遠方)の薬剤師でも参加できるような研修会用の教材があればよいと思う。
49	宮崎大学医学部附属病院	○		3回			○				1回										-	-	
50	鹿児島大学病院	○		3回																		開催回数が増え、内容がマンネリ化しているため、講師派遣を実施するシステムがあれば、講師謝礼等の費用の問題を解決する必要はありますが、参考にさせていただきます。	
51	琉球大学医学部附属病院	-		1回							1回										-	講師派遣費用	

IV-5. 都道府県内のがん医療に携わる医療者の研修・人材育成についてのアンケート

がん化学療法、緩和ケアチーム、看護師、薬剤師以外

No	施設	1.2019年度に開催した研修等の人材育成の取り組み		2.2020年度(2020.4~2020.9)に開催した研修等の人材育成の取り組み		3.今後、2020年度(2020.10以降)に開催を予定している研修等の人材育成の取り組み		4.都道府県内の施設に向けた研修・人材育成に関する取り組み	5.都道府県内の施設に向けた研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など
		研修対象者・対象職種	開催回数	研修対象者・対象職種	開催回数	研修対象者・対象職種	開催回数		
1	北海道がんセンター	-	-	-	-	-	-	-	-
2	青森県立中央病院	相談支援担当(社会福祉士等)	2回	-	-	相談支援担当(社会福祉士等)	1回	-	-
3	岩手医科大学附属病院	相談員(医療ソーシャルワーカー)	1回(2019.8.21)	-	-	相談員(医療ソーシャルワーカー)	1回(2020.12.11)	平日、日中は業務があるため、週末の開催とせざるを得ない。今後はWEBなども活用し、参加しやすい環境を整備したい。	-
4	宮城県立がんセンター	-	-	-	-	-	-	-	-
5	東北大学病院	-	-	-	-	-	-	-	-
6	秋田大学医学部附属病院	医師・放射線技師	1回	医師・放射線技師	1回	がん登録実務者	1回	-	-
		がん登録実務者	1回	-	-	がん相談員・MSW	1回	-	-
		看護師・MSW	2回	-	-	看護職員、保健学科学士	3回シリーズ	-	-
7	山形県立中央病院	放射線治療担当技師研修会	1回	-	-	放射線治療担当技師研修会	1回	特になし	特になし
		がん相談員研修会	1回	-	-	がん相談員研修会	1回		
8	福島県立医科大学附属病院	-	-	-	-	-	-	-	-
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	診療放射線技師	1回	-	-	診療放射線技師	6回	新型コロナウイルスの影響で研修会等を開催することが難しい。今後は、グループワークについてもWeb開催できるよう検討していく。	-
		医師、臨床検査技師	1回	-	-	県内医療関係者	1回		
		がん登録実務者	2回	-	-	茨城県がん相談従事者研修会 対象者：県内でがん相談に従事する者	2回		
		県内医療関係者	9回	-	-	-	-		
10	栃木県立がんセンター	がん相談員等	1回	-	-	相談員	1回	-	-
		医師・歯科医師	1回	-	-	診療放射線技師	1回		
		医師・医療従事者等	1回	-	-	-	-		
		医師・診療放射線技師	1回	-	-	-	-		
11	群馬大学医学部附属病院	医療従事者	4回	医療従事者	1回	医療従事者	3回	・オンライン会議で行う際、設備やシステムなどの理解に乏しく、悪い環境でのかいさいとなってしまうこと。 ・様々な業務を兼務しながらの研修会の開催や人材育成にてマンパワー不足オーバーワークになりがちである。	・講師の派遣
		-	-	-	-	がん相談実務者/基礎研修者(3) 修了者・看護師及びSW	1回		
12	埼玉県立がんセンター	-	-	-	-	-	-	-	-
13	千葉県がんセンター	院内がん登録実務者	2回	院内がん登録実務者	コロナウイルスの影響で、中止	院内がん登録実務者	1回	-	-
		がん相談員	2回	がん相談員	コロナウイルスの影響で、中止	がん相談員	1回	-	-
14	東京都立駒込病院	-	-	-	-	-	-	-	-
15	がん研究会有明病院	①放射線腫瘍医研修会・医師、看護師、技師、物理士他	コロナにより開催中止	緩和ケア研修会	1回	①放射線腫瘍医研修会・医師、看護師、技師、物理士他	1回(オンライン)	①放射線腫瘍医研修会：対面での意見交換や施設訪問が制限されており、いくらか困難は感じている。 ②放射線技師研修会：今後の研修のありかた、方法についてどのような方法が最善なのか不明。 これまで、年1回の講習会(集合研修)で実施しており、今後(最低でも今年度は)、集合形式の講習会が社会的に許容されるかがわからない。また、集合研修会が、各資格のポイントが付与される講習会も兼ねており、各団体へ確認が必要。	①放射線腫瘍医研修会：研修会をWEB配信でできるようなプラットフォームがあるとよい。例えば、講師がパワーポイントスライド(音声付)をアップし、聴講者がオンデマンドで視聴できるWEBシステム。現実には講師が通常のスライド準備以上の時間を要するのであれば使いづらく、著作権の問題で通常よりもスライドを作りにくい可能性あり。 ②放射線技師研修会：過去の講習会は放射線治療現場に従事する者が講師であったが、がん対策基本法の基本理念にあるように、がん医療の総合的、全般的な分野の方からの教示もいただきたい。基本に立ち戻り、放射線治療分野以外の方の協力も必要であり、放射線治療以外のがん医療の分野からの講師派遣や、研修教材提供などがあれば、放射線治療技師の総合力底上げにはならないか。
		②放射線技師研修会・放射線技師	コロナにより開催中止	-	-	②放射線技師研修会・放射線技師	1回(オンライン)		
		③多職種合同研修会・多職種	コロナにより開催中止	-	-	-	-		
		④石綿(アスベスト)・中皮腫研修会・多職種	コロナにより開催中止	-	-	-	-		
16	神奈川県立がんセンター	がん診療連携拠点病院、県推薦病院のがん登録実務者	2回	-	-	がん診療連携拠点病院、県推薦病院のがん登録実務者	1回	(がん登録部会)都道府県拠点病院はどこまでを対象として研修を行う必要があるのか、またその内容などについて具体的な指標が欲しい(県内全域の施設を対象とするのか、拠点・県推薦だけでよいのか、研修の内容は実務初心者・未経験者向けの登録方法についての内容なのか、臨床講義など対象全般に共有できるものでよいのかなど) (相談支援部会)がん相談支援センターに関して中心になり関わってくださった教育企画の担当者の退職や部署異動、後進への代替わりなどが相談支援部会の構成施設で生じている。都道府県拠点病院の担当者も他施設が協力して研修企画を行ってほしいが、人材の育成やマンパワーの確保などの課題がある。	(がん登録部会)研修の内容指定とその教材の配布及び研修を行う都道府県拠点病院に対しての人材の育成・研修を行ってほしい。
		神奈川県がん診療連携協議会相談支援部会構成施設のがん相談員	3回	-	-	神奈川県がん診療連携協議会相談支援部会構成施設のがん相談員	2回		
		4都県(埼玉・東京・千葉・神奈川)のがん相談担当者	1回	-	-	-	-		
17	新潟県立がんセンター新潟病院	-	-	-	-	-	-	-	-
18	富山県立中央病院	-	-	-	-	-	-	-	-
19	金沢大学附属病院	-	-	-	-	-	-	-	-
20	福井県立病院	-	-	-	-	-	-	-	-
21	山梨県立中央病院	全ての医療者	2回	-	-	がん相談員	2回	-	-
		がん相談員	1回	-	-	がん登録担当者	1回		
		がん登録担当者	1回	-	-	-	-		
22	信州大学医学部附属病院	医療者研修会(医師、看護師、薬剤師)	1回	-	-	-	-	コロナ禍状況がいつまで続くか読めませんが、医療者への研修活動は基本的には対面で行うことを考えています。リモートでもできないことはない、またはできるというけれど、一方通行の講義のみでなく、いろいろツールを工夫することなど、病院側にはそれほど時間的・人的に余裕はないことです。	-
		緩和ケアアドバンス研修	1回	-	-	-	-		
		ELNEC-J in 信大病院	1回	-	-	-	-		
		がんゲノム看護セミナー(看護師)	1回	-	-	-	-		
23	岐阜大学医学部附属病院	県内のがん登録実務者 診療情報管理士	1回	-	-	-	-	-	-
		岐阜県がん相談員 看護師 MSW	1回	-	-	-	-		
24	静岡県立静岡がんセンター	がん検診担当者研修会	2回	ヒトゲノム・遺伝子解析に関する倫理	1回(オンライン)	理学療法士、作業療法士等	1回	-	-
		相談員	1回	遺伝外来の実際(遺伝カウンセリング担当)	1回	歯科医 歯科衛生士	1回		
		介護職員	1回	統計学を含む臨床研究方法(研究担当)	1回	がんゲノム診療担当者	1回		
		理学療法士、作業療法士等	1回	-	-	-	-		
25	愛知県がんセンター中央病院	愛知県院内がん登録研修会 都道府県がん診療連携拠点病院(岐阜・三重・静岡) 愛知県内に所在する病院の院内がん登録関係者	2回 (1回目:2019.06.29-119名) (2回目:2019.12.21-134名)	-	-	-	-	・研修会の会場の確保・研修会講師の選定・研修会テーマの選定・予算 ・オンラインでの研修会の開催方法	・講師派遣・研修教材・教材としてのe-Learning 配信・オンラインでの研修方法
26	三重大学医学部附属病院	-	-	-	-	-	-	-	-
27	滋賀県立総合病院	-	-	-	-	-	-	-	-
28	京都大学医学部附属病院	診療放射線技師、医学物理士	5回	-	-	-	-	-	-
		医師	3回	-	-	-	-		
29	京都府立医科大学附属病院	医師・歯科医師	1回	-	-	全職種	1回	-	-
		医師・歯科医師・看護師・薬剤師	1回	-	-	-	-		
		全職種	3回	-	-	-	-		
30	大阪国際がんセンター	がん相談支援センター相談員	2回	-	-	がん相談支援センター相談員	2回	-	-
		がん登録実務者研修会	2回	-	-	がん登録実務者研修会	1回		
31	兵庫県立がんセンター	兵庫県院内がん登録実務者ミーティング	2回	-	-	-	-	-	-
32	奈良県立医科大学附属病院	がん登録担当者	1回	-	-	-	-	-	-
		在宅緩和ケアに携わる医師・看護師・地域連携担当者	1回	-	-	-	-		
33	和歌山県立医科大学附属病院	和歌山県がん診療連携協議会所属医療機関の事務担当者	1回	がん登録実務者	2回	がん相談員及びピアサポーター	1回	-	-
		がん登録実務者	3回	がん相談員及びピアサポーター	1回	-	-		
		がん相談員及びピアサポーター	1回	-	-	-	-		
34	鳥取大学医学部附属病院	鳥取県がん診療研修会	1回	-	-	鳥取県がん診療研修会	1回	遠方からの出席。 コロナ禍における集合研修体制。	-
35	鳥根大学医学部附属病院	鳥根県内医療従事者	3回	鳥根県内医療従事者	2回	鳥根県内医療従事者	3回	-	-
36	岡山大学病院	がん相談支援センター相談員	3回	がん相談支援センター相談員	1回	がん相談支援センター相談員	1回	コロナ禍で今年度の研修開始が遅くなり、通常より研修会数が少なくなっている。 集合での研修が困難であるため、事例検討が出来ていない。	-
37	広島大学病院	-	-	-	-	-	-	-	-

38	山口大学医学部附属病院	-	-	-	-	-	-	-	
39	徳島大学病院	がん専門相談員・看護師、MSW、心理士等	1回	-	がん専門相談員・看護師、MSW、心理士等	1回	COVID-19流行後、集合研修が実施困難となったが、リモート研修開催のノウハウが不十分なため、研修企画や開催に苦労している。	動画形式の講義や、eラーニングを都道府県内の施設向け研修でも使用できるよう、教材として提供いただけたらと助かります。	
40	香川大学医学部附属病院								
41	四国がんセンター	第1回がん相談員研修会	1回	第1回がん相談員研修WG	1回	がん登録実務者のための五大大がん登録講座 on the web	1回		
		がん相談支援専門部会主催地域相談支援フォーラムin四国	1回						
		がん登録実務者のための五大大がん登録講座	1回						
		院内がん登録実務者研修会	1回						
42	高知大学医学部附属病院	県内医療機関の院内がん登録実務者を対象とした研修会(診療情報管理士、医療事務職員、医師事務作業補助者等)	2回	県内医療機関の院内がん登録実務者を対象とした研修会(診療情報管理士、医療事務職員、医師事務作業補助者等)	2020年7月に開催予定の計画するも新型コロナウイルスの感染拡大により中止	県内医療機関の院内がん登録実務者を対象とした研修会(診療情報管理士、医療事務職員、医師事務作業補助者等)	新型コロナウイルスの感染状況により開催可否を判断	・集合研修を開催できる目処がつかず、WEB研修の開催も検討する必要があるが、WEB研修の開催に必要な、機材購入やZOOM等の契約にかかる費用を支出できる予算がない。各施設においても、WEB研修を受けられる環境の整備状況は様々であり、足並みが揃っていない状況がある。 今後の研修方法について、オンラインによる研修会にすればよいか、コロナが収束に向かえば以前のように研修者を会場に集めて開催すべきなのか判断に悩んでいるところである。 オンライン会議だと人を集めなくて良い分、コミュニケーションが以前より取りづらくなるなど、両面一長一短があり悩ましいところです。 ・がんのリハビリテーションに携わる県内施設の状況を十分に把握できていない。	WEB研修開催に必要な機材購入やZOOM等の契約にかかる費用が交付金で支出できるようにする。また、各県で行っている研修の中には重複している内容もあるかと思うので、国立がん研究センターで研修内容の取りまとめを行って頂き、全国で研修の内容を共有できるようにして頂くことでの研修が増えることで、地方在住の人の研修を受ける機会が増し、全国的な人材育成にも繋がると思います。
		医師、看護師、PT、OT、ST	1回						
43	九州がんセンター	-	-	-	-	-	診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士に対する研修・人材育成は、各団体に一任しており、各団体における教育体制や質の評価などについて、体系的な把握ができていない。	必要とされる研修・人材育成とは何か、そのためにはどのようなプログラムとすべきか、そのプログラムを実施するために必要な講師や研修費、各団体における教育体制や質の評価などについて、体系的な把握ができていない。	
44	九州大学病院	-	-	-	-	-	-	-	
45	佐賀大学医学部附属病院	がん登録に関わる職種に向けて佐賀県がん登録研修会	5回	がん登録に関わる職種に向けて佐賀県がん登録研修会	2回	がん登録に関わる職種に向けて佐賀県がん登録研修会	6回		
		がん登録に関わる職種に向けて、がん医療従事者eラーニング	2019年度	がん登録に関わる職種に向けて、がん医療従事者eラーニング	2020.4~2020.9	がん登録に関わる職種に向けて、がん医療従事者eラーニング	2020.10以降	ロールプレイング形式の研修時に講師派遣や日程調整に苦慮している。	QA研修のような形の講師派遣や教材提供など継続的に支援いただけたらとありがたい。
		がん相談支援センター相談員	1回	院内・院外看護師(がん看護研修会)	1回	がん相談支援センター相談員	1回		
		院内・院外看護師(がん看護研修会)	1回			院内・院外看護師(がん看護研修会)	1回		
46	長崎大学病院	地域がん診療連携拠点病院および地域医療機関の医療従事者	1回(2019年度第1回長崎県がん診療連携拠点病院研修会)			医療従事者	1回(令和2年度第1回がん地域連携バス研修会)		
		地域がん診療連携拠点病院および地域医療機関の医療従事者	1回(2019年度第2回長崎県がん診療連携拠点病院研修会)			地域がん診療連携拠点病院および地域医療機関の医療従事者	1回(放射線治療に関する研修会)		
		地域がん診療連携拠点病院および地域医療機関の医療従事者	1回(2019年度第3回長崎県がん診療連携拠点病院研修会)			院内医療従事者	1回(AYA世代妊産性温存に関する研修会)		
		院内医療従事者	1回(がん治療と仕事の就労・両立支援セミナー)						
		医療従事者	1回(令和元年度第1回がん地域連携バス研修会)						
医療従事者	1回(令和元年度第2回がん地域連携バス研修会)								
医療従事者	1回(長崎がんチーム医療研修会)								
47	熊本大学医学部附属病院	医師、放射線技師、物理士等	1回	初期・後期研修医	1回	医師、放射線技師、物理士等	1回		
		本院及び地域医療機関の医師、メディカルスタッフ	1回			本院及び地域医療機関の医師、メディカルスタッフ	1回		
		医師、放射線技師、物理士等	9回			医師、放射線技師、物理士等	4回		
		栄養士・管理栄養士	1回			栄養士・管理栄養士	1回		
		初期・後期研修医	3回			初期・後期研修医	1回		
		看護師・MSW	2回			看護師・MSW	1回		
		院内がん登録実務者・院内がん登録に興味のある方	2回			院内がん登録実務者・院内がん登録に興味のある方	1回		
48	大分大学医学部附属病院	臨床検査技師、医師	5回			臨床検査技師、医師	2回		
		大分県内の医師、看護師、メディカルスタッフ	1回						
		県内の医療従事者	1回						
49	宮崎大学医学部附属病院	宮崎県がん診療連携協議会 がん相談員	2回				コロナの影響で研修が出来ていない		
50	鹿児島大学病院	鹿児島県のがん拠点病院・指定病院のがん相談員(看護師、MSW、臨床心理士、ピアサポーター等)	2回			鹿児島県のがん拠点病院・指定病院のがん相談員(看護師、MSW、臨床心理士、ピアサポーター等)	1回実施済み 2回予定 計3回		
		がん登録担当者	4回			がん登録担当者	1回		
51	琉球大学医学部附属病院	医師・その他のメディカルスタッフ	4回	医師・その他のメディカルスタッフ	1回	医師・その他のメディカルスタッフ	1回		
		がん相談に携わる看護師・MSW等の医療従事者	1回	がん相談に携わる看護師・MSW等の医療従事者	1回			新型コロナ対策として、検温、原案内等、必要な対応が増え、通常よりスタッフを確保しなければならぬ。WEB開催を検討する際、参加者が各々の場所からWEB参加すると、通常開催より質疑応答等が充実しない可能性がある	
		患者会世話人、患者サロン世話人、がん相談支援センター担当者	1回						